

2026年3月期
決算説明会資料



2026年5月21日

 オイレス工業株式会社

東証プライム:6282

表紙イラスト:2026年3月11日「日本経済新聞」5段カラー広告

2026年3月期

決算ハイライト

各通貨の換算レート

通貨	中期計画適用レート (2023年度 平均レート)	2025年度 平均レート	2026年度 適用レート
米ドル	140	149	154
ユーロ	152	169	180
チェココルナ	6.34	6.86	7.43
人民元	19.8	20.8	22.3
タイバーツ	4.04	4.56	4.86
インドルピー	1.76	1.72	1.69

※B/S科目等の残高項目は決算日レートにより換算しております

※急激な為替変動時は別途調整をおこなう場合がございます

地域別の会計期間

日本・インド

通期 4-3月

欧米・中国・タイ

通期 1-12月

2026年3月期 決算ハイライト -連結実績-

- 売上高は中期計画に及ばなかったものの過去最高を達成し、営業利益は前期及び中期計画を上回った。
- 年間配当金は予定どおり1株当たり85円

売上高

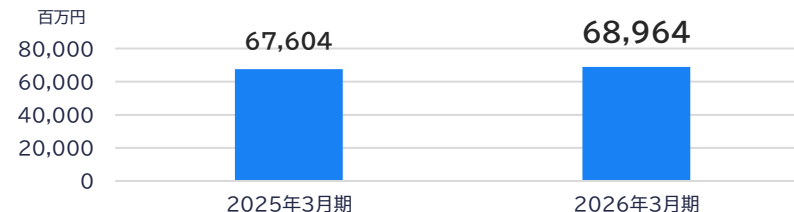
68,964 百万円

前期比

+2.0%

中計比

▲3.1%



営業利益

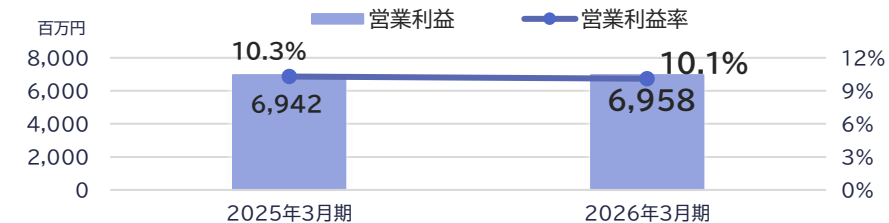
6,958 百万円

前期比

+0.2%

中計比

+9.6%

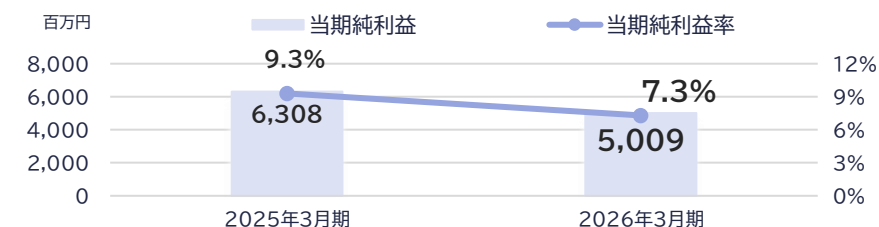


親会社株主に帰属する
当期純利益

5,009 百万円

前期比

▲20.6%

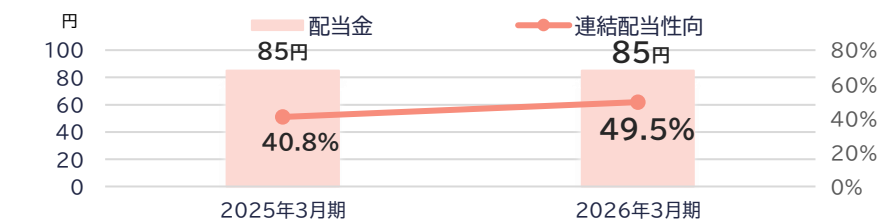


年間配当金

中間 42円/株
期末 43円/株
85 円/株

前期

85 円/株



一般軸受機器

売上高 **15,949** 百万円
 前期 14,830百万円 (+7.5%)
 中計 15,900百万円 (+0.3%)

営業利益 **1,668** 百万円
 前期 1,133百万円 (+47.2%)
 中計 1,350百万円 (+23.6%)

■ 一般産業向け製品は、エレクトロニクス分野の半導体製造装置において、国内及び中国向けの需要が堅調に推移したことに加え、国内外における再生可能エネルギー向けの受注が好調であったことから、前期を上回る売上高、利益となった

自動車軸受機器

売上高 **34,221** 百万円
 前期 33,804百万円 (+1.2%)
 中計 34,800百万円 (▲1.7%)

営業利益 **3,394** 百万円
 前期 3,363百万円 (+0.9%)
 中計 3,250百万円 (+4.4%)

■ 自動車向け製品は、通商政策の影響など自動車市場を取り巻く不確実な環境が続いたものの、中国における新エネルギー車向けの売上伸長やインドでの新規案件の立ち上げなどが業績に寄与し、前期を上回る売上高、利益となった

構造機器(免制震)

売上高 **11,235** 百万円
 前期 11,311百万円 (▲0.7%)
 中計 12,300百万円 (▲8.7%)

営業利益 **1,306** 百万円
 前期 1,956百万円 (▲33.2%)
 中計 1,150百万円 (+13.6%)

■ 橋梁向け製品においては鉄道や一般道路、建築向け製品においては都市再開発物件やロジスティクスセンターを中心に売上を獲得した一方で、橋梁物件の期ズレや性能試験設備不具合に対する設備復旧、社外設備を使用した出荷対応費用の計上があり、前期を下回る売上高、利益となった

建築機器(オイルスECO)

売上高 **5,765** 百万円
 前期 5,938百万円 (▲2.9%)
 中計 6,460百万円 (▲10.8%)

営業利益 **464** 百万円
 前期 391百万円 (+18.6%)
 中計 540百万円 (▲14.1%)

■ ビル向け製品では回復の動きが見られたものの前期から引き続き低調な市況の影響を受け、住宅向け製品は持ち直しの動きが鈍化し、前期を下回る売上高となった。一方で、販管費削減の効果により、利益は前期を上回った

2026年3月期

決算実績



- 売上高及び営業利益は前期を上回った一方、納期遅延補償損失引当金の特別損失計上により特別利益が相殺され、加えて賃上げ税制に係る税優遇が剥落したことから、親会社株主に帰属する純利益は前期を下回った

	2025/3期		2026/3期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	67,604	100.0%	68,964	100.0%	+2.0%
売上総利益	23,685	35.0%	24,143	35.0%	+1.9%
販管費	16,743	24.8%	17,185	24.9%	+2.6%
営業利益	6,942	10.3%	6,958	10.1%	0.2%
経常利益	7,381	10.9%	7,239	10.5%	▲1.9%
特別損益	756	1.1%	▲98	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,308	9.3%	5,009	7.3%	▲20.6%

連結貸借対照表

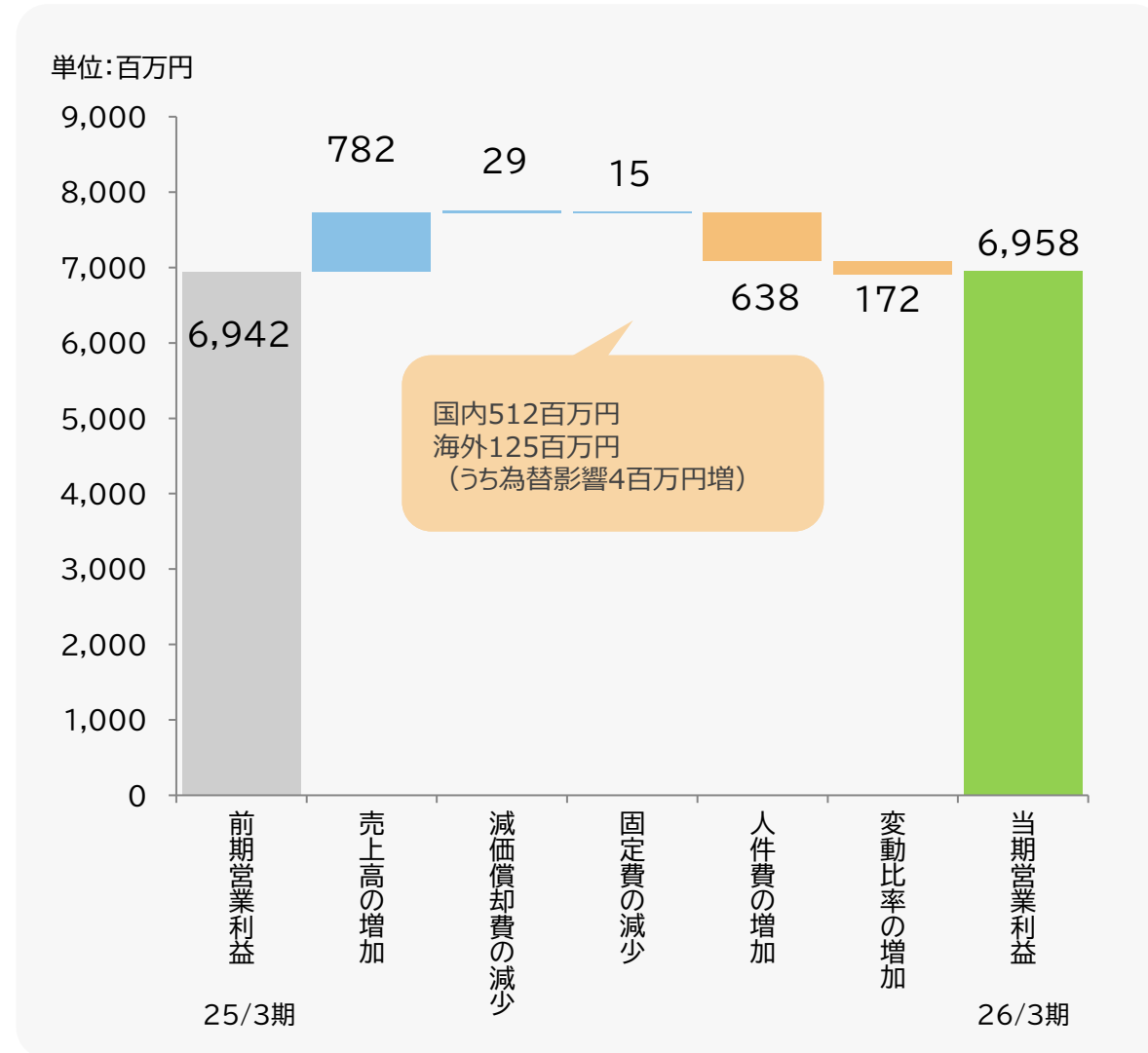
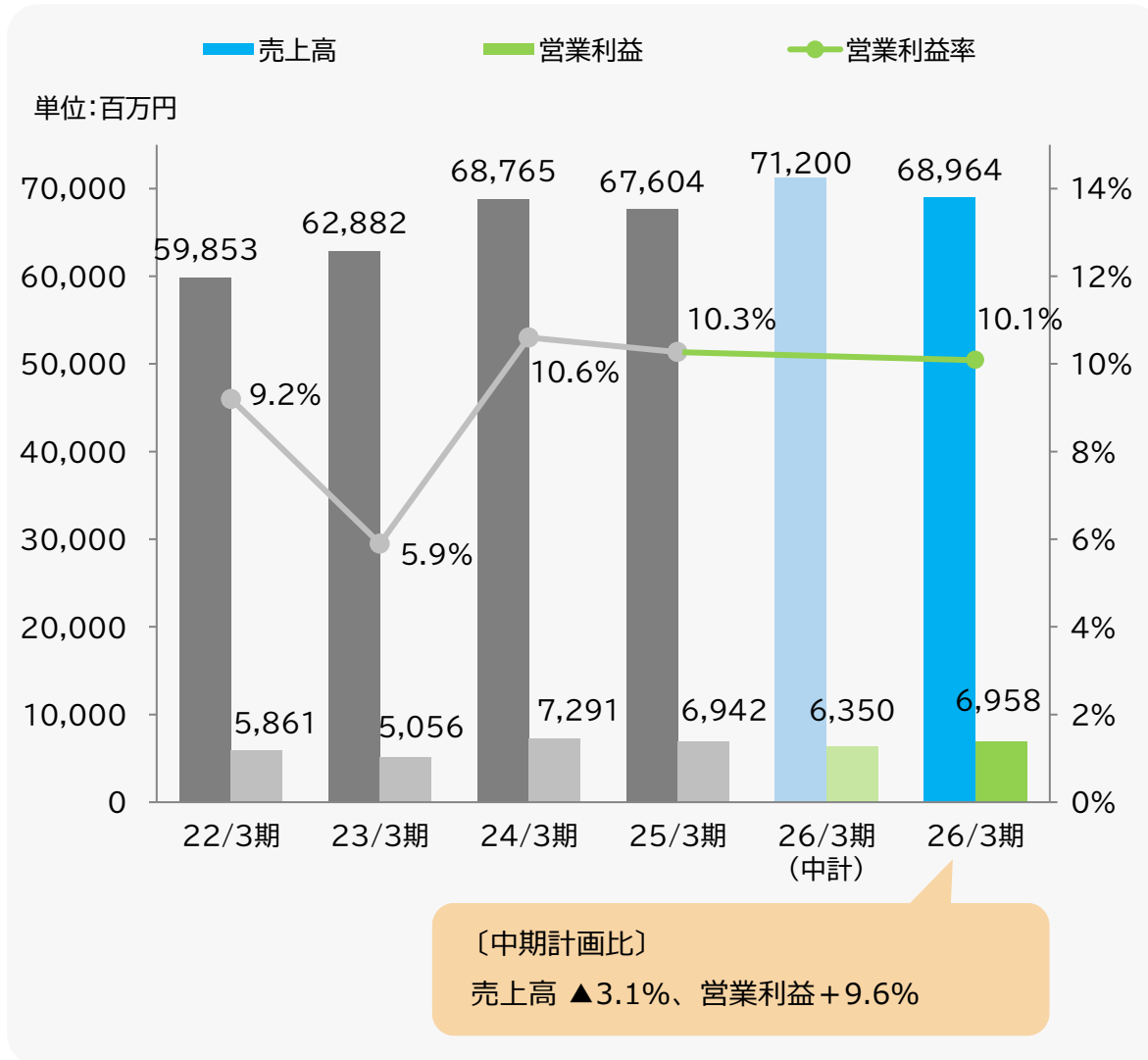
- 流動資産：営業活動によるキャッシュ・フローの増加に伴い現金及び預金が増加
- 固定資産：設備投資の増加に伴い、建設仮勘定及び建物及び構築物が増加

	2025/3期	2026/3期		
	金額	金額	前期比	主な内容
流動資産	59,319	60,379	+1,059	現金及び預金 +3,353 仕掛品 ▲691 受取手形及び売掛金 ▲608
固定資産	34,042	39,049	+5,007	建設仮勘定 +1,486 建物及び構築物 +1,120 投資有価証券 +1,109
総資産	93,361	99,429	+6,067	
流動負債	13,496	13,524	+27	納期遅延補償損失引当金 +1,087 1年内返済予定の長期借入金 ▲1,095
固定負債	3,020	5,288	+2,268	長期借入金 +1,447 繰延税金負債 +459
純資産	76,844	80,616	+3,771	利益剰余金 +2,330 退職給付に係る調整累計額 +750
自己資本比率	81.6%	80.6%	▲1.0pt	
流動比率	439.5%	446.5%	+6.9pt	

- 有形固定資産の取得に伴い、投資活動によるキャッシュ・フローが前期に比べ減少

	2025/3期	2026/3期		前期比
		金額	主要内容	
現金及び現金同等物の期首残高	24,891	24,966		+74
○営業活動によるキャッシュ・フロー	8,773	10,651	税金等調整前当期純利益 7,141 減価償却費 3,436 納期遅延補償損失 1,396 法人税等の支払額 ▲1,859	+1,877
○投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,447	▲4,468	投資有価証券の売却による収入 1,837 有形固定資産の取得による支出 ▲5,670	▲2,020
フリーキャッシュフロー	6,325	6,183	営業活動C/F + 投資活動C/F	▲142
○財務活動によるキャッシュ・フロー	▲6,893	▲3,096	自己株式の処分による収入 2,015 自己株式の取得による支出 ▲2,462 配当金の支払額 ▲2,687	+3,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	642	337		▲305
現金及び現金同等物の増減額	74	3,423		+3,348
現金及び現金同等物の期末残高	24,966	28,389		+3,423

● 人件費の増加に伴う利益減少要因はあったものの、過去最高の売上高達成に伴い営業利益は前期を上回った



2027年3月期

業績予想



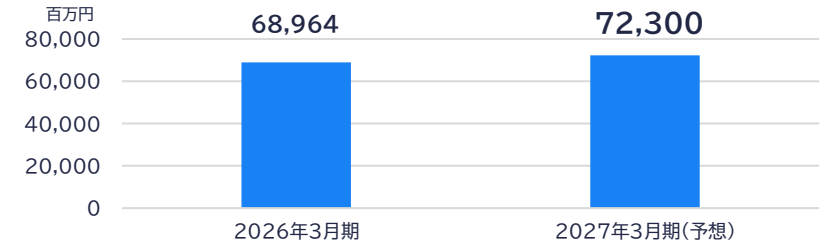
2027年3月期 連結業績予想



売上高

72,300 百万円

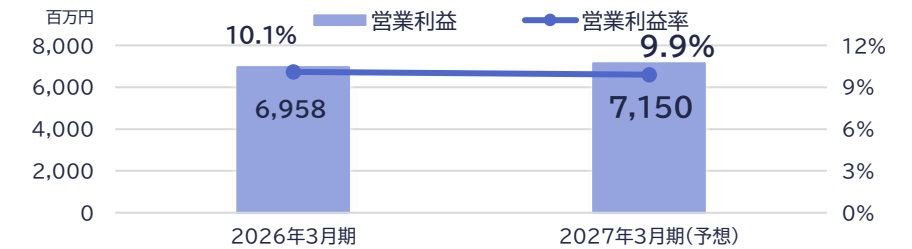
前期比 **+4.8%** 中計比 **▲3.6%**



営業利益

7,150 百万円

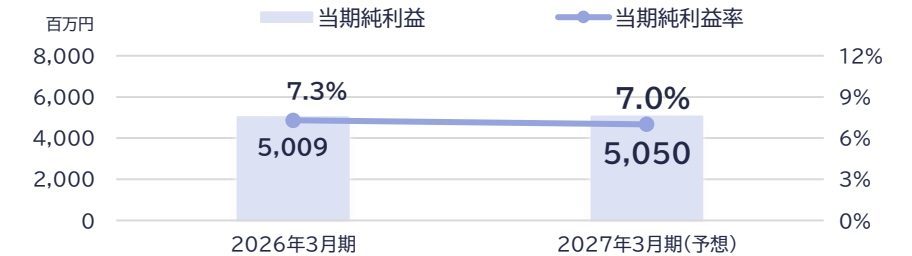
前期比 **+2.8%** 中計比 **▲2.7%**



親会社株主に帰属する当期純利益

5,050 百万円

前期比 **+0.8%**

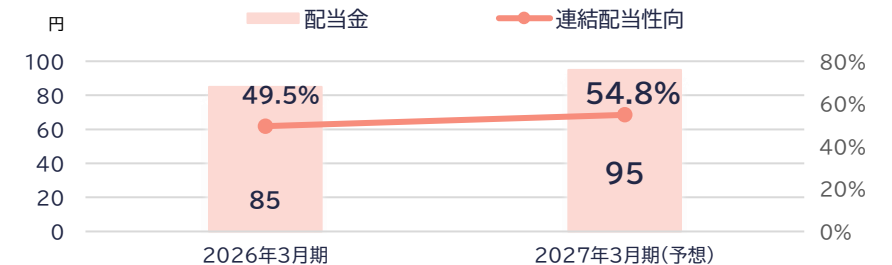


年間配当金

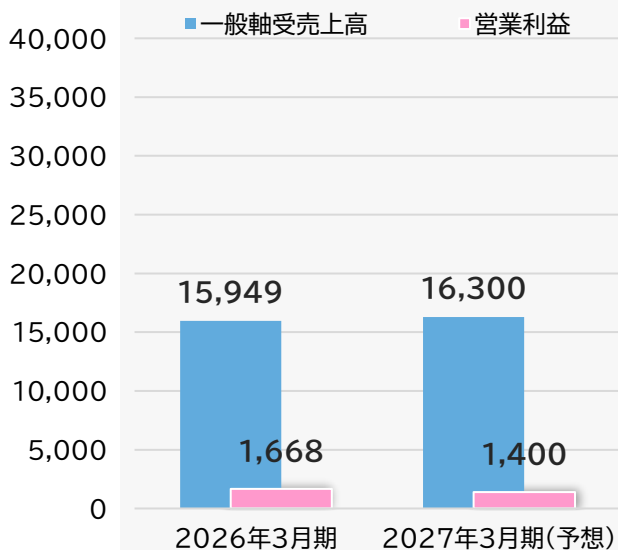
中間 47円/株
期末 48円/株

95 円/株

前期 **85** 円/株

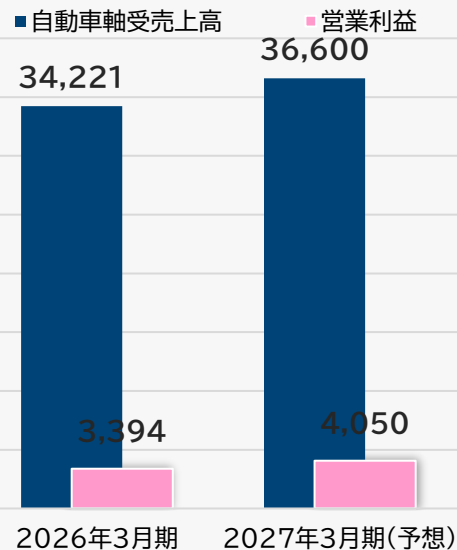


一般軸受機器



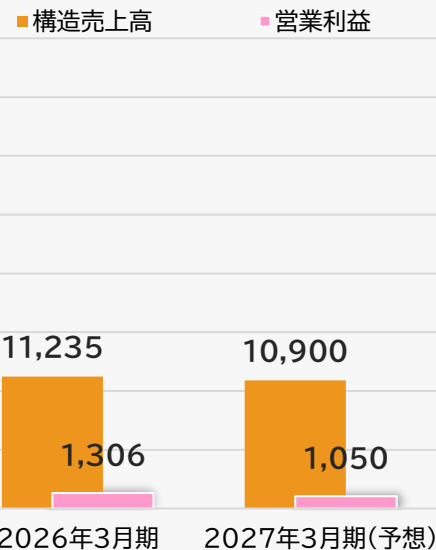
■ 半導体製造装置や再生可能エネルギー向けの施策継続により中国市場低迷の影響を一定程度吸収。一方、前期は高収益な大型案件が寄与し利益を押し上げたが当期はその影響が一巡し増収減益と予想。

自動車軸受機器



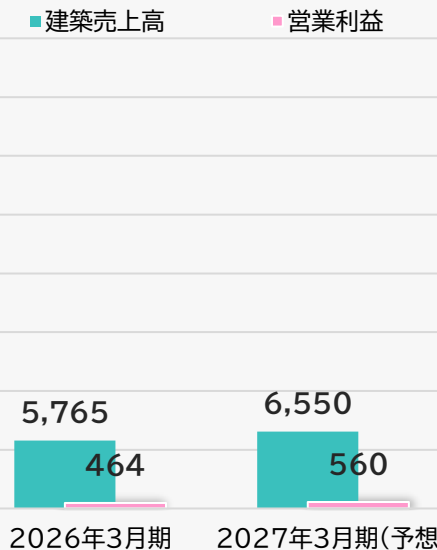
■ 中国やインド向けは非日系企業向けの施策効果により採用を拡大。人件費の増加や米国関税影響は適正な価格転嫁等で影響を最小限に留める。これらに為替影響も加わり増収増益と予想。

構造機器



■ 橋梁向け製品においては前期から遅れた物件も取り込むことで伸長するが、建築向け製品においては計画の遅延や見直しの影響を強く受ける結果、構造機器全体では減収減益と予想。

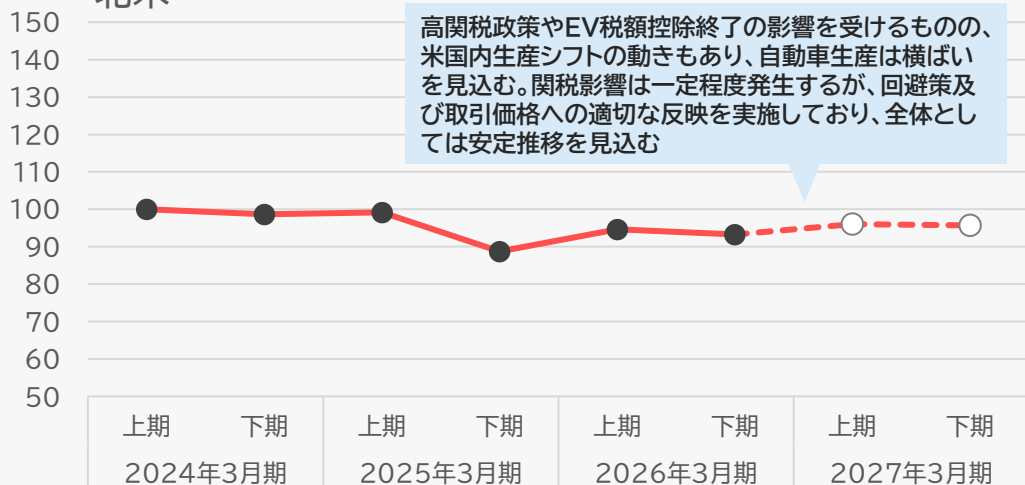
建築機器



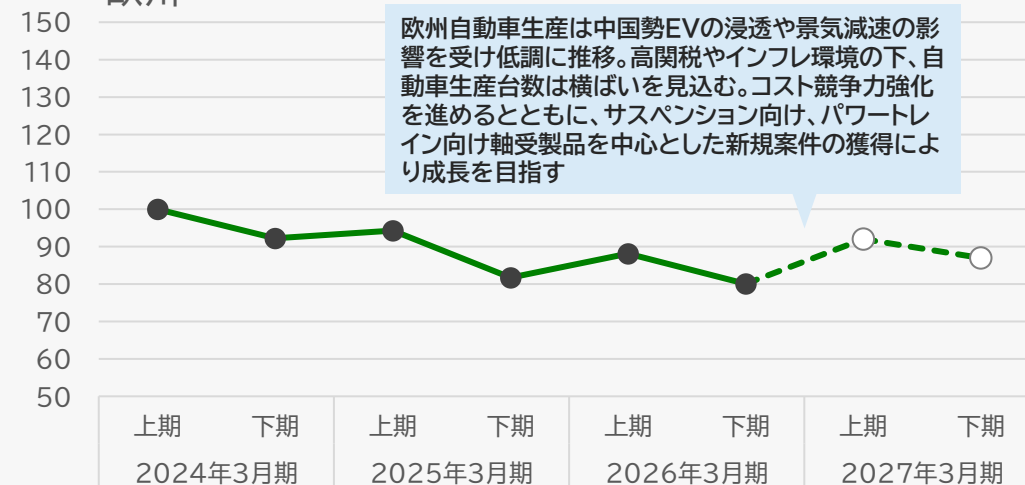
■ 建築着工床面積の減少や労務費、資材等の原価が高騰する中においても、建築物の長寿命化要求の高まりとともに拡大するリニューアル市場、リフォーム市場への活動を強化し増収増益と予想。

【軸受】地域別売上高推移

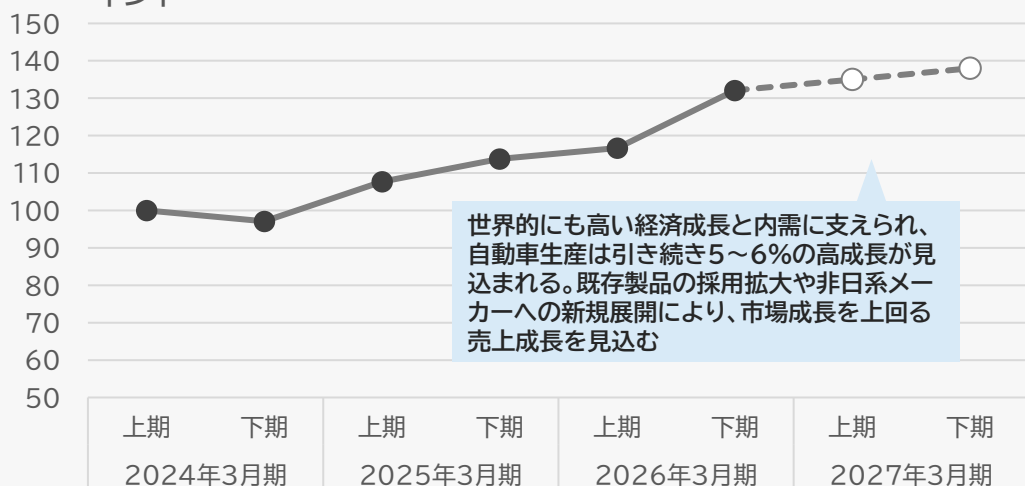
北米



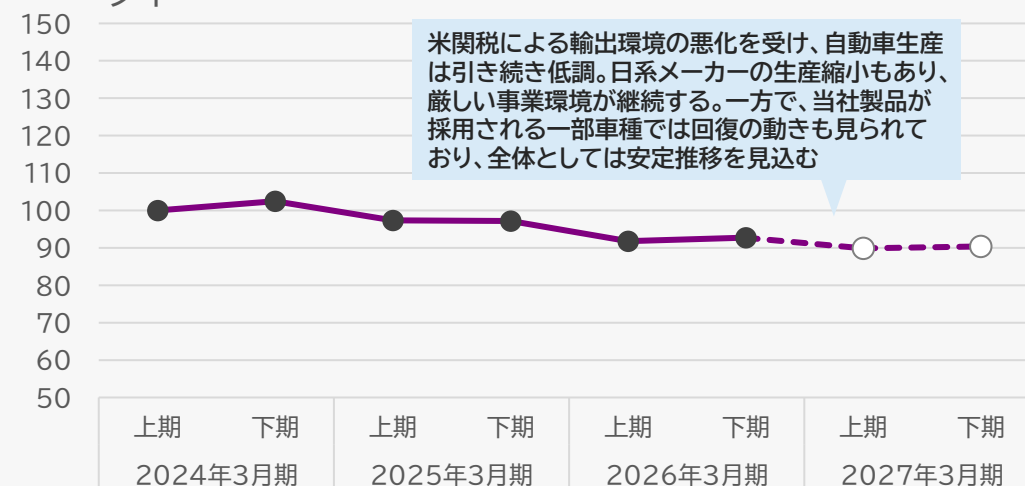
欧州



インド

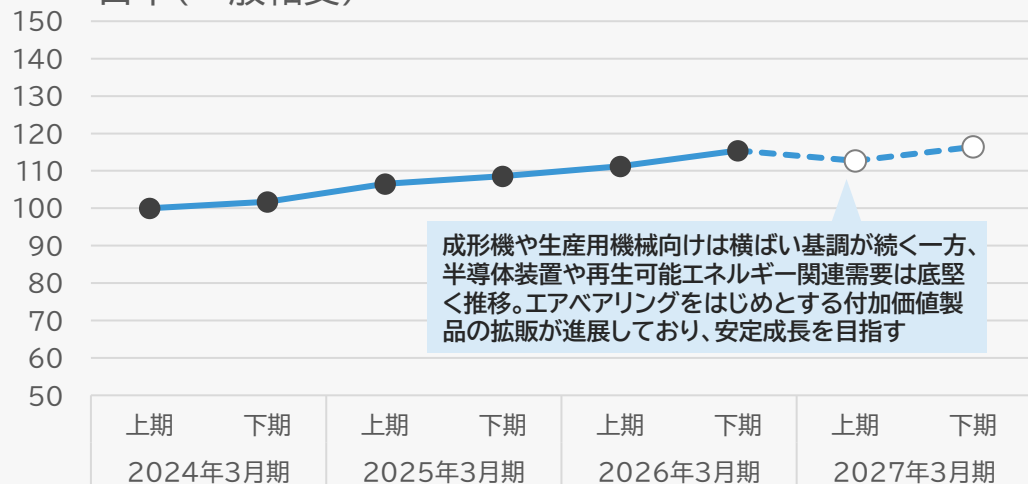


タイ

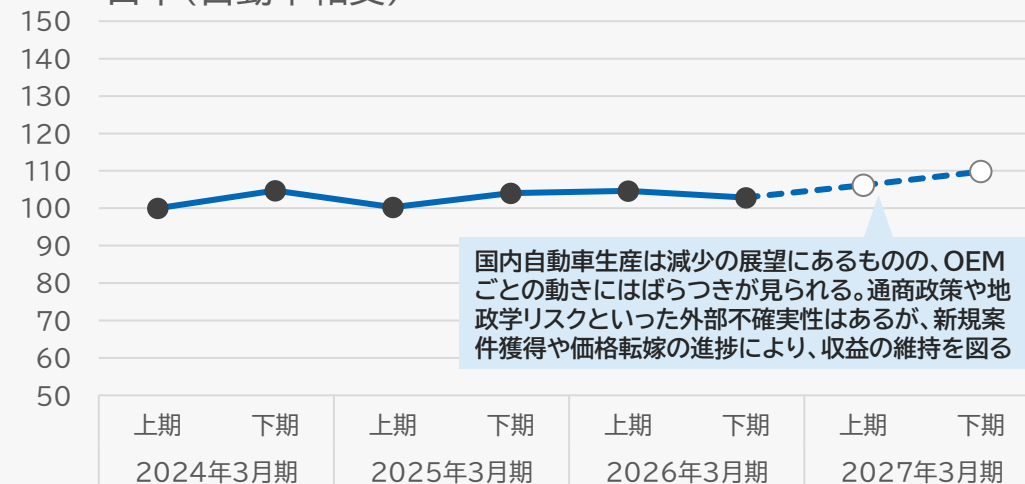


※北米、欧州、タイは1-12月、インドは4-3月 ※2024年3月期上期を100とした場合の指数

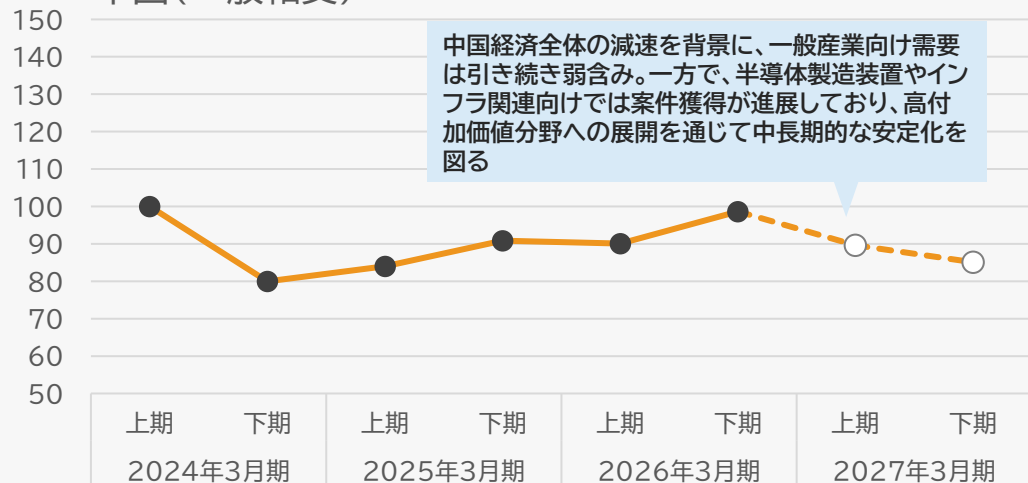
日本(一般軸受)



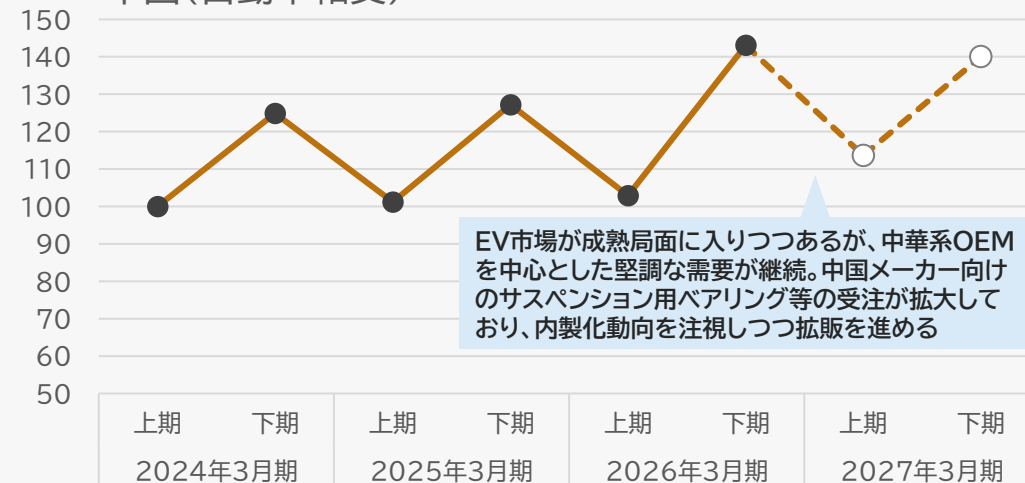
日本(自動車軸受)



中国(一般軸受)



中国(自動車軸受)



※中国は1-12月、日本は4-3月 ※2024年3月期上期を100とした場合の指数

中期経営計画 2024-2026

取組状況

経営理念に基づき OILES 2030 VISIONへ向けた
持続的成長と企業価値向上を目指します

「**変革**」と「**進化**」への強い決意 とともに

経営理念

オイルレスベアリングの総合メーカーとして
世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する

長期ビジョン

OILES 2030 VISION

『サステナブルな社会の実現を、
摩擦・摩耗・振動の技術 +X で貢献する』

「新技術・新規事業創出」と「基盤強化」

中期経営計画2024-2026



成長投資



生産性向上



企業価値向上



財務運営

- 1 次世代の飛躍成長を実現するために、**成長市場へ経営資源を全力投球**
- 2 **業務改革と生産技術の追求**によって、全部門が生産性を向上する
- 3 **すべてのステークホルダーに貢献する企業価値向上**
- 4 **資本効率性を意識した財務運営**

中期計画 定量指標

	2024年度	2025年度	2026年度
売上高	677億円	712億円	750億円
営業利益	57億円 (コア収益※91億円)	63.5億円 (コア収益※103.5億円)	73.5億円 (コア収益※118.5億円)
ROE	-	-	8.0%以上

※コア収益=営業利益+減価償却費

OILES 2030 VISION 経営目標

- 営業利益率**15%**以上
- ROE**10%**以上

サステナブルな社会の実現に貢献し
持続的成長と企業価値向上を目指す

実績及び予想

	2024年度(実績)	2025年度(実績)	2026年度(予想)
売上高	676億円	689億円	723億円
営業利益	69.4億円 (コア収益※104.1億円)	69.5億円 (コア収益※103.9億円)	71.5億円 (コア収益※108.5億円)
ROE	8.4%	6.4%	-

※コア収益=営業利益+減価償却費

セグメント別中期計画 取組状況

定量指標

売上高

2026年度 予想

163億円(予想)

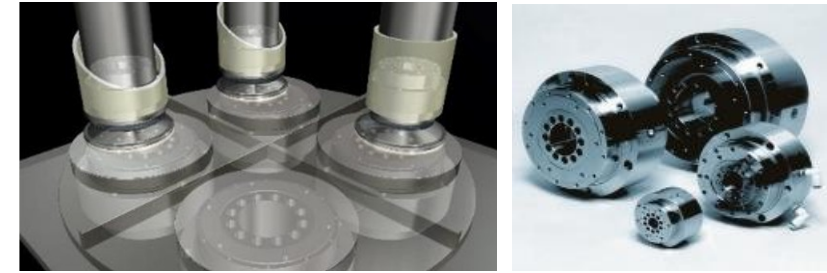
(対中期計画比:97.6%)

営業利益

2026年度 予想

14億円(予想)

(対中期計画比:82.4%)



主な重点施策

○ エレクトロニクス市場

成長エリアである**中国市場への拡販**を目標に施策を展開

計画通り推進し、中国市場でオイレスエアスピンドルの受注獲得に成功

※オイレスエアスピンドル: ウェハ表面の精密研磨装置、高精度検査装置等の高精度回転を支持する高精度スピンドル

○ 再生可能エネルギー市場

水力発電市場

- ・ 当社独自の樹脂軸受ファイバーフロンシリーズの採用拡大
- ・ 国内メンテナンス、海外新設に向けてスペックイン活動強化

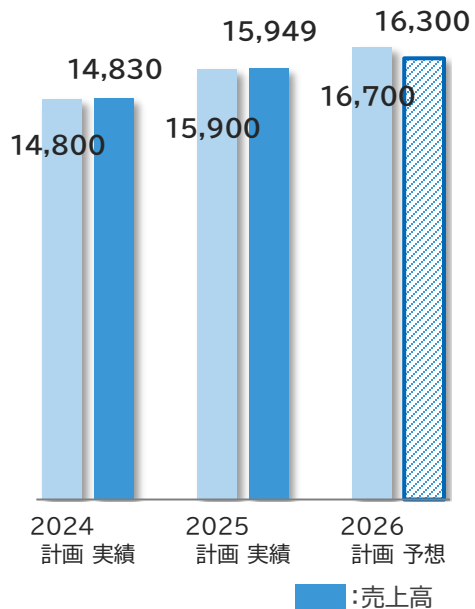
次世代船舶

- ・ 自然エネルギーを補助推進に活用する次世代船舶など新用途の採用獲得も進展

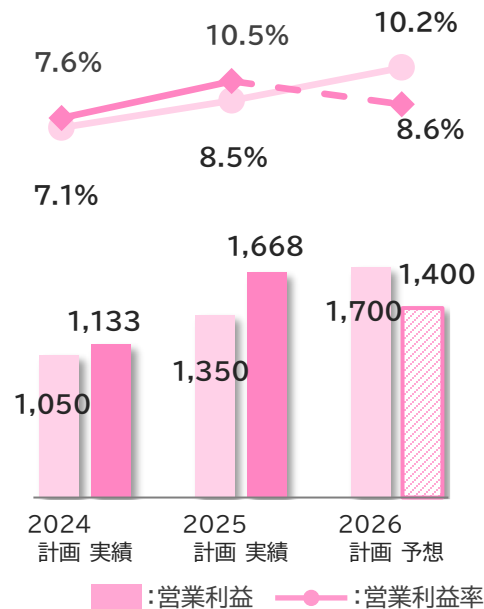
洋上風力発電市場

- ・ 洋上風力発電や浮体設備、係留装置などに向け当社独自の樹脂軸受、高耐食性金属軸受のスペックイン活動継続

百万円



百万円



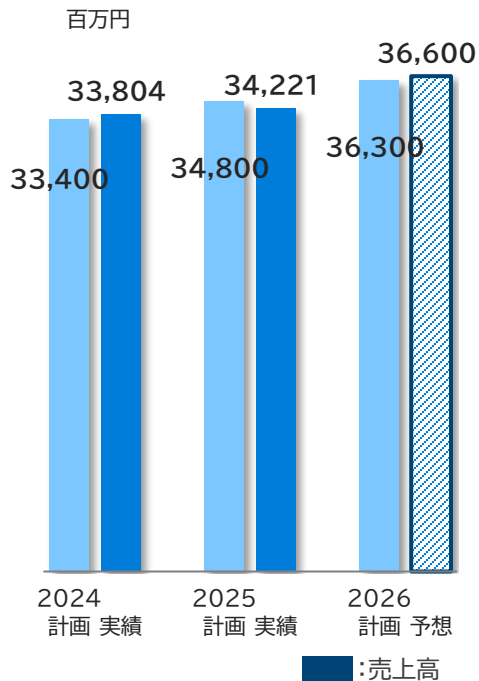
定量指標

売上高

2026年度 予想

366億円(予想)

(対中期計画比:100.8%)

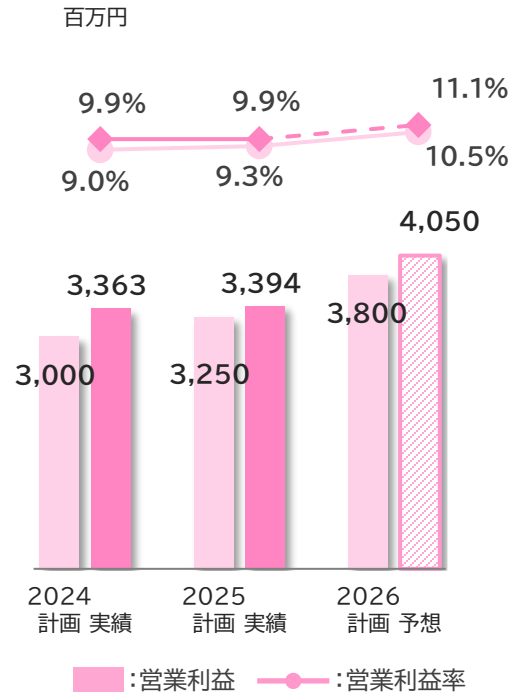


営業利益

2026年度 予想

40.5億円(予想)

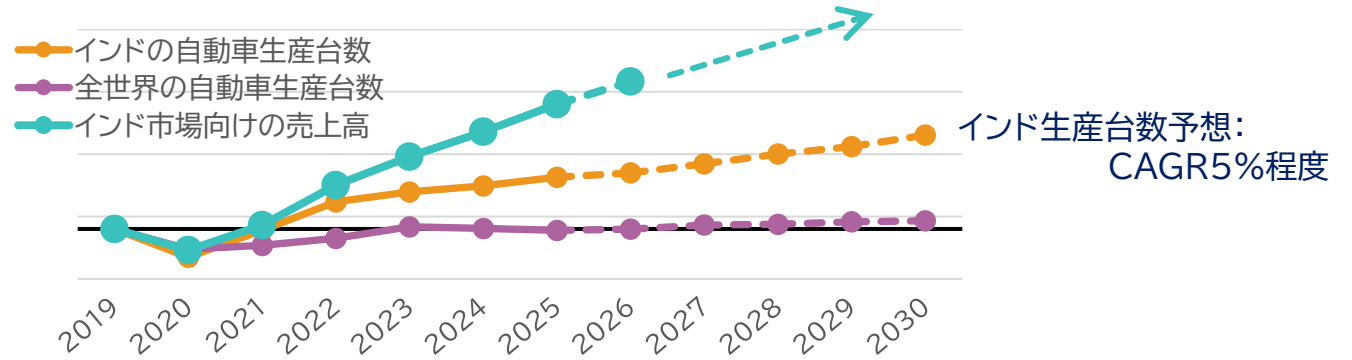
(対中期計画比:106.6%)



主な重点施策

○ インド市場

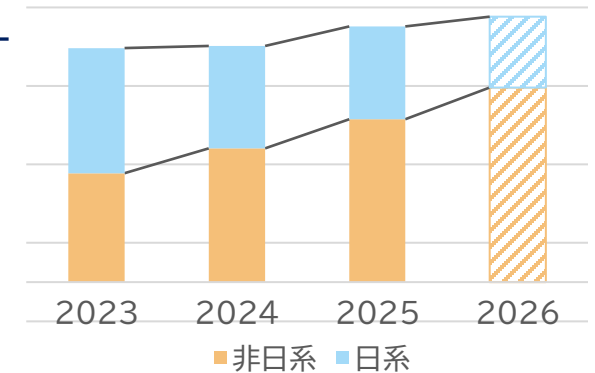
- ・ 2027年2月の稼働開始に向けて第2工場の建設を遂行中
- ・ 将来の受注拡大を見据え、非日系企業向けの活動も強化



○ 中国市場

当社は非日系の中国現地自動車メーカー向けの採用拡大にも積極的に取り組み、非日系向けの売上を拡大

中国市場売上構成



定量指標

売上高

2026年度 予想

109億円(予想)
(対中期計画比:80.4%)

営業利益

2026年度 予想

10.5億円(予想)
(対中期計画比:87.5%)

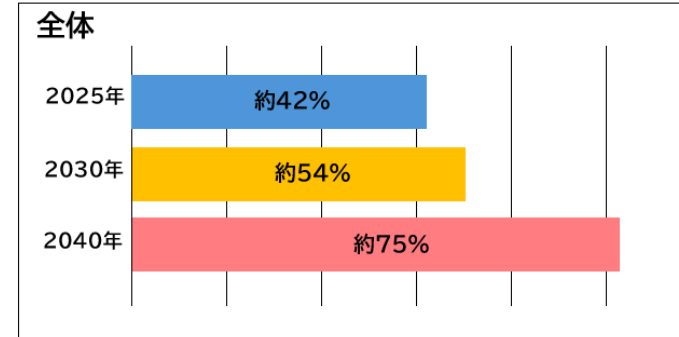
主な重点施策

○橋梁向け耐震・補修需要への対応

2025年6月に閣議決定された第1次国土強靱化実施中期計画において、特に推進が必要な施策への事業規模が2026年から5年間でおおむね**20兆円強**見込。

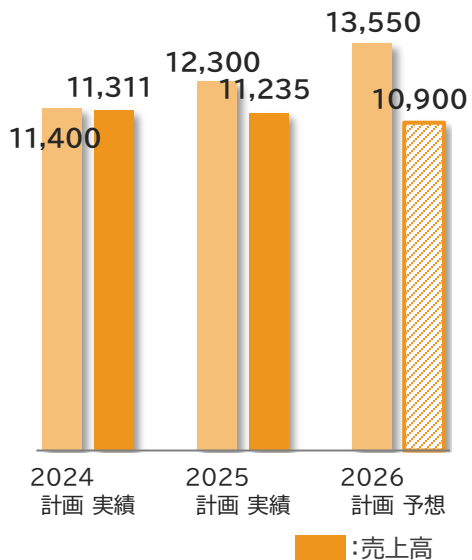
今後も継続的な需要が見込まれる橋梁向けの耐震・補修について、新製品の投入も行き、売上の拡大を目指す。

【50年経過橋梁の割合】

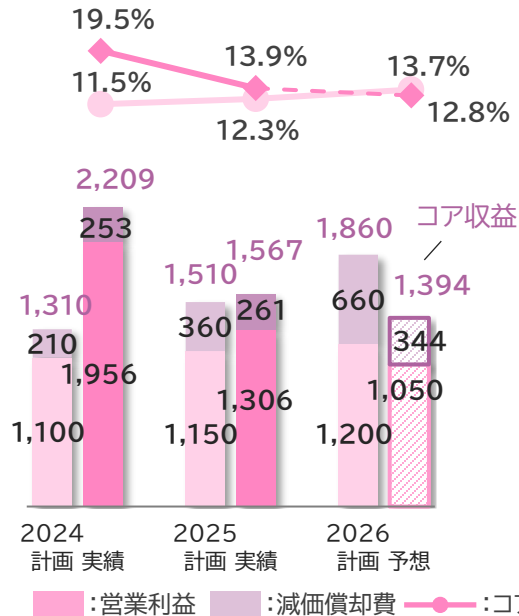


出典:
「道路データブック 2025 14-1-1 道路の予防保全」(国土交通省)
(https://www.mlit.go.jp/road/toukei_chousa/road_db/pdf/2025/14-1-1.pdf)
「インフラメンテナンス情報 各社会資本の老朽化の現状」(国土交通省)
(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/pdf/50year_percentage.pdf)
を加工して作成

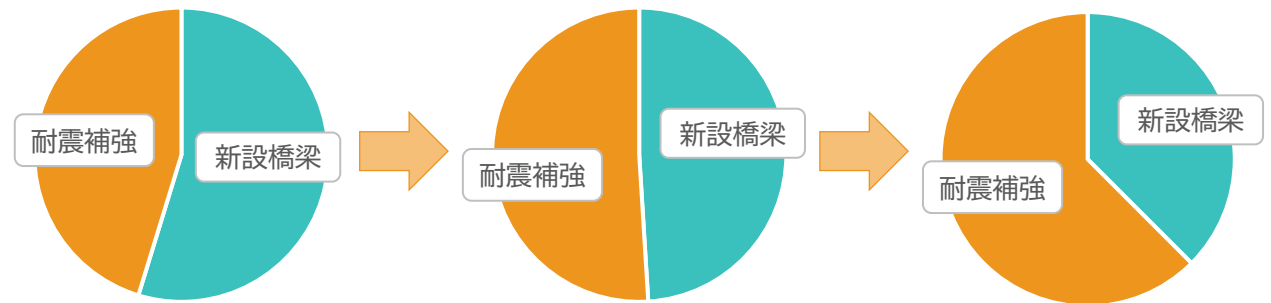
百万円



百万円



橋梁分野のスパックイン金額の割合
(2023年度実績)



定量指標

売上高

2026年度 予想

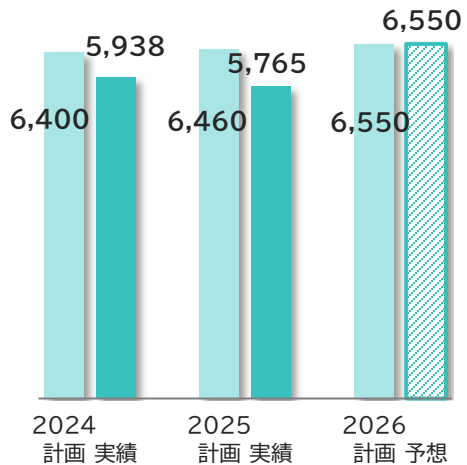
65.5億円(予想)
(対中期計画比:100%)

営業利益

2026年度 予想

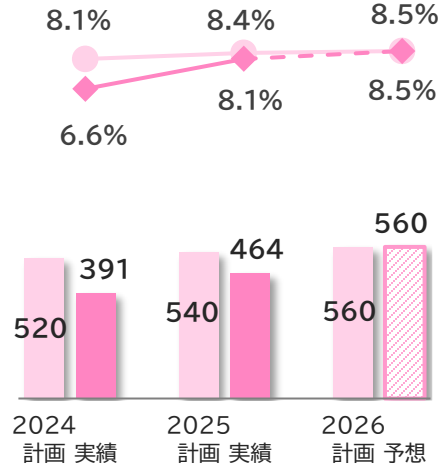
5.6億円(予想)
(対中期計画比:100%)

百万円



■:売上高

百万円



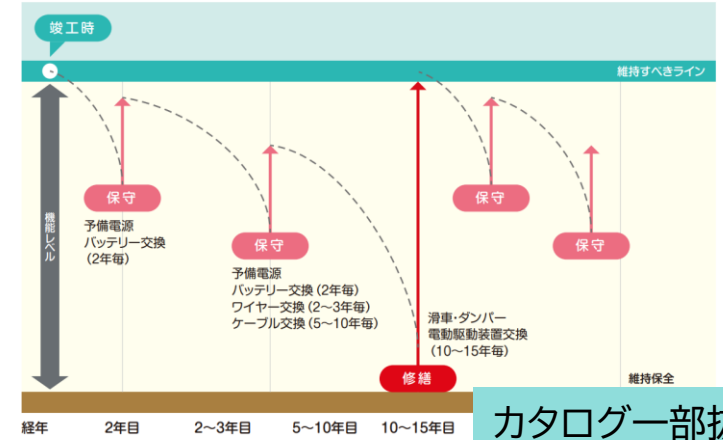
■:営業利益 ●:営業利益率

主な重点施策

リニューアル・リフォーム市場強化

重点施策として掲げているリニューアル・リフォーム市場強化はビル管理会社やオーナーへの積極的な説明会、営業活動や修理・故障・メンテナンス専用カタログの活用、保守契約の獲得に向けた取り組みを強化し、**リニューアル案件**の売上高は**順調に推移**している。

更なる売上拡大を目指し引き続き活動を強化していく。



カタログ一部抜粋

ウインドウオペレーターの供給を続けて**50年以上**、**累計売上高1千億円以上の実績**を背景に引き続き安心・安全・快適、省エネを提供して参ります。

※保守は部品寿命に応じて数年毎に実施推奨、修繕は10～15年毎に実施推奨

新規事業創出と経営基盤の高度化に向けた取り組み

+X

○ 新規事業創出活動

- 当社保有の**知的財産**を起点にした
新規事業の検証実験を継続
- 新規事業の社内公募から選ばれた候補について
社内実証実験を踏まえ**事業化検討**を段階的に推進

○ 人的資本経営、従業員エンゲージメントの向上

- 会社の風土醸成、社員の頑張りの評価への反映強化のために
人事評価制度を変更

○ 企業認知の向上

- 継続的な広報活動を推進しファン株主の醸成
～TVCM、ウェブ広告、新聞雑誌等の複数メディアを介した施策展開～
- **個人投資家向け**オンライン会社説明会や
日経・東証IRフェアへの参加により個人株主との接点増加

○ 生産性向上

- **生成AI**の業務利用の定着化による生産性向上の実現
- 生産技術部門を社長直轄部門として、**ロボット化、自動化を加速**

○ 財務基盤の高度化

- 資本効率性向上や必要キャッシュ水準を意識したバランスシート運営(株主還元)
～24～26年度の総還元性向は88%となる見込み(5月開示ベース)
- ROIC運営の意識浸透に向け、現場向けに研修を実施

■ 効率よく稼ぐためにやるべきこと
～オスピーが語る資本収益性～



〔主な研修内容〕

- **株主資本コスト**
株主が当社に期待することとは？
- **資本収益性**
何をどうすれば効率よく稼げるの？
- **設備投資の収益性 (ROIC)**
設備投資をする or しないって
どう判断するの？



社内研修資料の抜粋

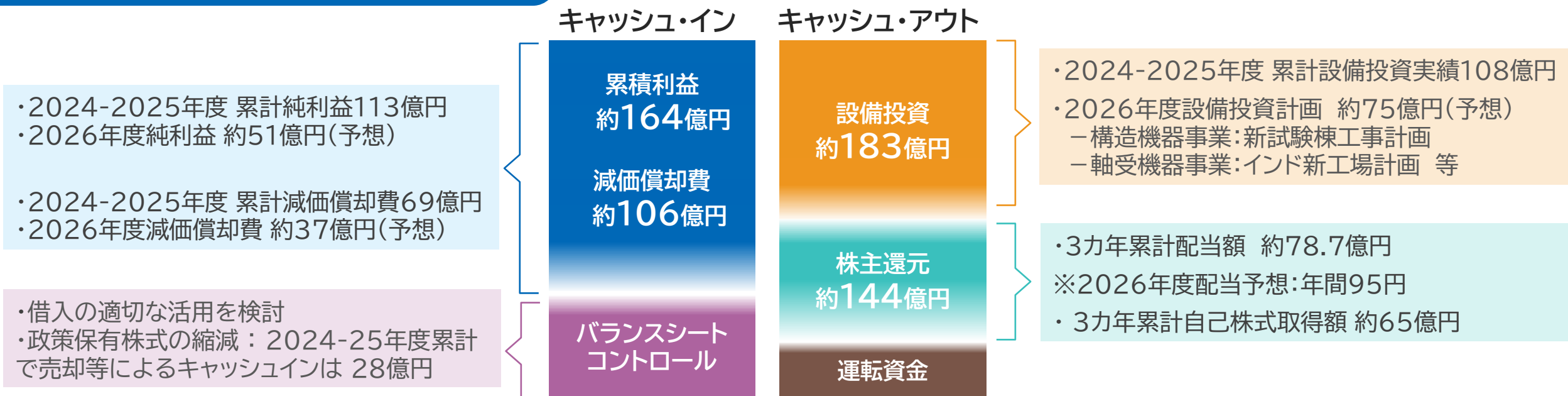
資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

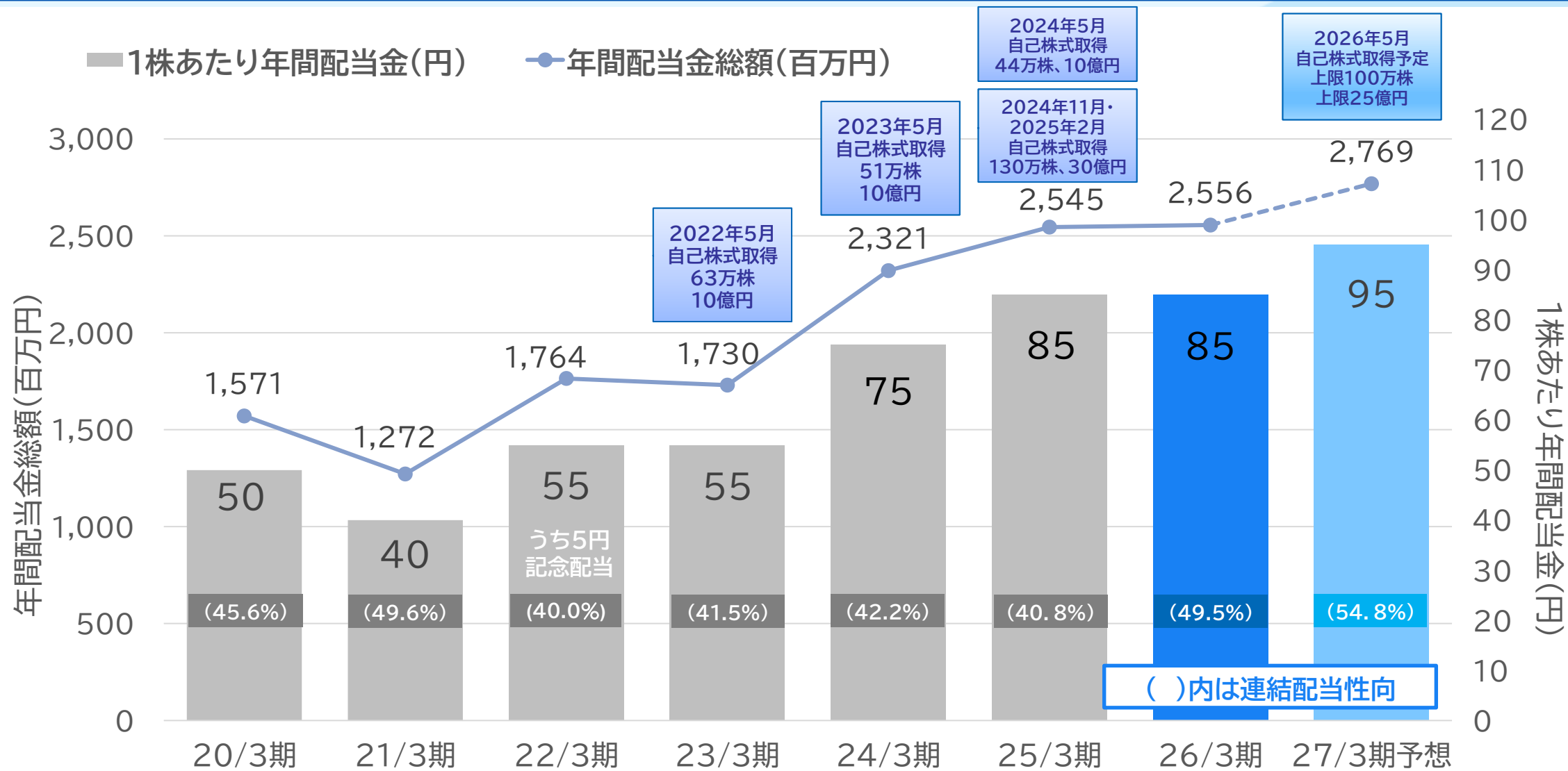
資本収益性改善に向けた取り組み

- ROE : 2023年度7.6% ⇒ 2024年度8.4%、2025年度6.4% ※ROE目標: 2026年度8%以上、2030年度10%以上
- 株主還元強化 : 資本収益性改善の観点から、配当・自己株式取得及び株主優待制度の拡充による株主還元を強化
 一年間配当)2024年度:85円(前期比+10円)、2025年度:85円、2026年度予想95円(前期比+10円)
 ~2024-2026年度の総還元性向は88%となる見込み(5月開示ベース)~
 ー自己株式取得額)2024年度34億円、2025年度6億円、2026年度予定25億円
- 政策保有株式縮減 : 上場株式の一部売却により、2025年3月期の政策保有株式時価総額は前期比△7.8%
 2026年3月期の政策保有株式時価総額は前期比△6.6%

政策保有株式の縮減比率について誤植がありましたので訂正してお詫び申し上げます。

2024-2026 3カ年キャッシュ・フロー予想





総還元性向 [※]	45.6	49.6	40.0	66.1	60.6	103.7	49.5	104.3	(%)
--------------------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	-----

()内は連結配当性向

※総還元性向は、取締役会決議時に自己株式取得上限金額を計上して算出しています

ご参考資料

Appendix



第75期 連結決算概要 (ご参考資料)
Fiscal Year 2025 Financial Summary (For Reference Only)

2026年5月
May-2026

オイレス工業株式会社
Oiles Corporation

1. 製品別売上高推移 (Sales by Products)

(単位: 百万円) (unit: million yen)

	第72期(2023年3月期) Fiscal year 2022			第73期(2024年3月期) Fiscal year 2023			第74期(2025年3月期) Fiscal year 2024			第75期(2026年3月期) Fiscal year 2025			第76期(2027年3月期) 予想 Fiscal year 2026 (Forecast)		
	上期 1st half	下期 2nd half	通期 Annual	上期 1st half	下期 2nd half	通期 Annual	上期 1st half	下期 2nd half	通期 Annual	上期 1st half	下期 2nd half	通期 Annual	上期 1st half	下期 2nd half	通期 Annual
軸受機器 Bearing Division	20,774	23,107	43,881	22,408	24,124	46,532	24,101	24,533	48,634	24,119	26,051	50,170	26,000	26,900	52,900
構造機器 Structural Division	4,309	7,066	11,375	5,087	8,196	13,283	5,623	5,688	11,311	5,991	5,244	11,235	4,700	6,200	10,900
建築機器 Architectural Division	2,758	3,374	6,132	2,834	3,555	6,389	2,648	3,290	5,938	2,436	3,329	5,765	2,900	3,650	6,550
その他 Other	789	702	1,491	896	1,662	2,558	808	911	1,719	913	881	1,794	900	1,050	1,950
合計 Grand Total	28,631	34,249	62,882	31,228	37,537	68,765	33,183	34,422	67,604	33,461	35,505	68,964	34,500	37,800	72,300

(需要先別の内訳) (By Industries)

自動車向け For Auto mobile	13,760	15,673	29,434	15,345	17,029	32,374	16,732	17,072	33,804	16,381	17,840	34,221	17,900	18,700	36,600
一般産業機械向け For general industrial machinery	7,013	7,434	14,447	7,063	7,095	14,158	7,369	7,461	14,830	7,738	8,211	15,949	8,100	8,200	16,300
【軸受機器計】 Total Bearing Division	20,774	23,107	43,881	22,408	24,124	46,532	24,101	24,533	48,634	24,119	26,051	50,170	26,000	26,900	52,900
橋梁用 For Bridge	1,617	3,797	5,414	3,109	4,397	7,506	2,858	4,122	6,980	2,250	2,608	4,858	3,000	3,700	6,700
建物用 For Building	2,692	3,269	5,961	1,978	3,799	5,777	2,765	1,566	4,331	3,741	2,636	6,377	1,700	2,500	4,200
【構造機器計】 Total Structural Division	4,309	7,066	11,375	5,087	8,196	13,283	5,623	5,688	11,311	5,991	5,244	11,235	4,700	6,200	10,900
排煙装置 Window Operating System	2,379	3,025	5,404	2,447	3,194	5,641	2,319	2,924	5,243	2,079	3,005	5,084	2,520	3,240	5,760
住宅用窓機器 Other Devices for House	379	349	728	387	361	748	329	366	695	357	324	681	380	410	790
【建築機器計】 Total Architectural Division	2,758	3,374	6,132	2,834	3,555	6,389	2,648	3,290	5,938	2,436	3,329	5,765	2,900	3,650	6,550

2. 連結損益の状況 (Statement of Consolidated Earnings)

(単位: 百万円) (unit: million yen)

	第73期 (2024年3月期) Fiscal Year 2023						第74期 (2025年3月期) Fiscal Year 2024						第75期 (2026年3月期) Fiscal Year 2025						第76期 (2027年3月期) 予想 Fiscal Year 2026(Forecast)					
	上期 1st half		下期 2nd half		通期 Annual		上期 1st half		下期 2nd half		通期 Annual		上期 1st half		下期 2nd half		通期 Annual		上期 1st half		下期 2nd half		通期 Annual	
	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %	金額 Amount	構成比 %
売上高 Net sales	31,228	100.0%	37,537	100.0%	68,765	100.0%	33,183	100.0%	34,421	100.0%	67,604	100.0%	33,461	100.0%	35,503	100.0%	68,964	100.0%	34,500	100.0%	37,800	100.0%	72,300	100.0%
売上原価 Cost of Sales	21,105	67.6%	24,673	65.7%	45,778	66.6%	21,574	65.0%	22,345	64.9%	43,919	65.0%	21,856	65.3%	22,964	64.7%	44,820	65.0%	22,500	65.2%	24,600	65.1%	47,100	65.1%
売上総利益 Gross Profit	10,122	32.4%	12,865	34.3%	22,987	33.4%	11,608	35.0%	12,077	35.1%	23,685	35.0%	11,604	34.7%	12,539	35.3%	24,143	35.0%	12,000	34.8%	13,200	34.9%	25,200	34.9%
販売費及び一般管理費 Selling, General and Administrative Expenses	7,512	24.1%	8,183	21.8%	15,695	22.8%	7,992	24.1%	8,751	25.4%	16,743	24.8%	8,374	25.0%	8,811	24.8%	17,185	24.9%	8,850	25.7%	9,200	24.3%	18,050	25.0%
営業利益 Operating Income	2,610	8.4%	4,681	12.5%	7,291	10.6%	3,616	10.9%	3,326	9.7%	6,942	10.3%	3,229	9.7%	3,729	10.5%	6,958	10.1%	3,150	9.1%	4,000	10.6%	7,150	9.9%
営業外収益 Non-operating Income	907		316		1,223		453		303		756		340		366		706							
営業外費用 Non-operating Expenses	533		190		723		183		134		317		276		148		424							
営業外損益 Non-operating Income and Expenses	374	1.2%	126	0.3%	500	0.7%	270	0.8%	169	0.5%	439	0.6%	64	0.2%	218	0.6%	282	0.4%	80	0.2%	20	0.1%	100	0.1%
経常利益 Ordinary Income	2,984	9.6%	4,807	12.8%	7,791	11.3%	3,886	11.7%	3,495	10.2%	7,381	10.9%	3,293	9.8%	3,946	11.1%	7,239	10.5%	3,230	9.4%	4,020	10.6%	7,250	10.0%
特別利益 Extraordinary Income	262		21		283		97		823		920		42		1,337		1,379							
特別損失 Extraordinary Losses	93		-10		83		104		59		163		58		1,420		1,478							
特別損益 Extraordinary Income and Losses	169	0.5%	31	0.1%	200	0.3%	-7	0.0%	764	2.2%	757	1.1%	-16	0.0%	-82	-0.2%	-98	-0.1%	100	0.3%	100	0.3%	200	0.3%
税金等調整前当期純利益 Profit Before Income Taxes	3,154	10.1%	4,837	12.9%	7,991	11.6%	3,879	11.7%	4,259	12.4%	8,138	12.0%	3,278	9.8%	3,863	10.9%	7,141	10.4%	3,330	9.7%	4,120	10.9%	7,450	10.3%
法人税等 Income Taxes	1,063	3.4%	1,403	3.7%	2,466	3.6%	1,129	3.4%	680	2.0%	1,809	2.7%	979	2.9%	1,116	3.1%	2,095	3.0%	1,030	3.0%	1,360	3.6%	2,390	3.3%
当期純利益 Profit	2,090	6.7%	3,434	9.1%	5,524	8.0%	2,749	8.3%	3,580	10.4%	6,329	9.4%	2,298	6.9%	2,748	7.7%	5,046	7.3%	2,300	6.7%	2,760	7.3%	5,060	7.0%
非支配株主に帰属する 当期純利益 Profit Attributable to Non-controlling Interests	33	0.1%	14	0.0%	47	0.1%	13	0.0%	7	0.0%	20	0.0%	5	0.0%	31	0.1%	36	0.1%	10	0.0%	0	0%	10	0.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 Profit Attributable to Owners of Parent	2,057	6.6%	3,419	9.1%	5,476	8.0%	2,736	8.2%	3,572	10.4%	6,308	9.3%	2,293	6.9%	2,716	7.7%	5,009	7.3%	2,290	6.6%	2,760	7.3%	5,050	7.0%

3. 設備投資及び減価償却の状況 (Summary of Investment and Depreciation)

	第72期(2023年3月期) Fiscal year 2022		第73期(2024年3月期) Fiscal year 2023		第74期(2025年3月期) Fiscal year 2024		第75期(2026年3月期) Fiscal year 2025		第76期(2027年3月期)予想 Fiscal year 2026(Forecast)
	上期 1st half	通期 Annual	上期 1st half	通期 Annual	上期 1st half	通期 Annual	上期 1st half	通期 Annual	通期 Annual
設備投資額 Capital Expenditure	1,402	2,668	912	2,069	1,852	4,235	3,540	5,923	7,500
減価償却額 Depreciation Expenses	1,588	3,276	1,566	3,364	1,648	3,466	1,626	3,436	3,700

4. 従業員の状況

	第72期(2023年3月期) Fiscal year 2022		第73期(2024年3月期) Fiscal year 2023		第74期(2025年3月期) Fiscal year 2024		第75期(2026年3月期) Fiscal year 2025		第76期(2027年3月期)予想 Fiscal year 2026(Forecast)
	2022年9月 E/Sept/'22	2023年3月 E/Mar/'23	2023年9月 E/Sept/'23	2024年3月 E/Mar/'24	2024年9月 E/Sept/'24	2025年3月 E/Mar/'25	2025年9月 E/Sept/'25	2026年3月 E/Mar/'26	2027年3月 E/Mar/'27
正規雇用 Regular/Full Time	2,032	2,030	2,064	2,064	2,071	2,069	2,055	2,065	2,125
嘱託・臨時雇用 Part Time	485	482	494	513	513	503	526	535	536
合計 Grand Total	2,517	2,512	2,558	2,577	2,584	2,572	2,581	2,600	2,661

※本資料は各数値を連結ベースで集計しております。

【本資料の利用に関する注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願いいたします。

また、本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

補足資料

Appendix



商号	オイルス工業株式会社	(英文名) OILES CORPORATION
設立	1952年(昭和27年)3月11日	
資本金	85億8,500万円	
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:6282)	
本社	神奈川県藤沢市桐原町8番地	
従業員数	2,600名(連結) 1,155名(単体)	
機関設計	監査等委員会設置会社(任意の指名・報酬委員会設置)	
役員構成	代表取締役会長	飯田 昌弥
	代表取締役社長	坂入 良和
	取締役	田邊 和治
	取締役	米山 操
	社外取締役(独立)	大村 康二
	社外取締役(独立)	宮川 理加
	取締役(常勤監査等委員)	宮崎 聡
	社外取締役(監査等委員)(独立)	前田 達宏
	社外取締役(監査等委員)(独立)	榊原 健郎
産業財産権	特許:3,647件 実用新案:612件 意匠:78件 商標:852件	

当社ウェブサイトでは様々な情報をご提供していますのでご覧ください

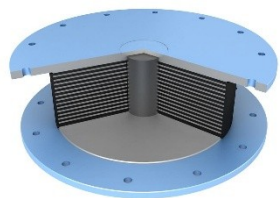


<https://www.oiles.co.jp>



一般軸受事業

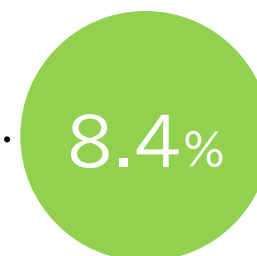
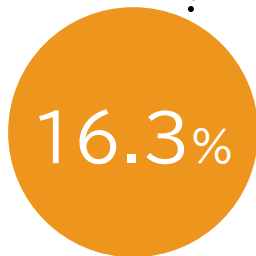
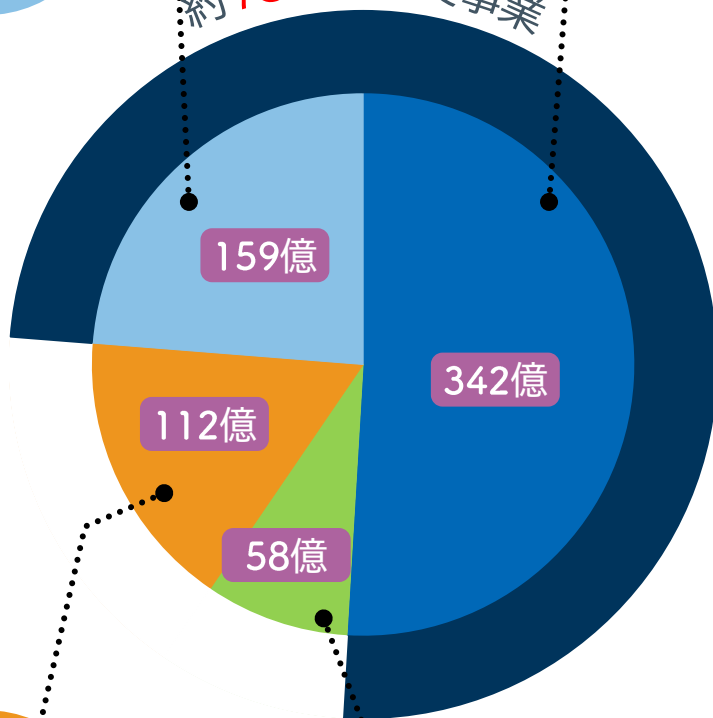
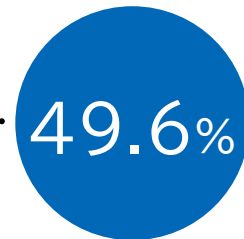
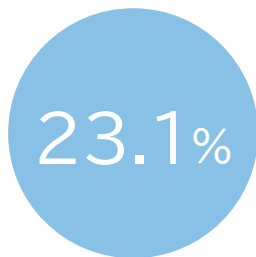
生産設備から家庭用製品まで
自動車以外の領域で軸受を提供



ビルや橋梁などに免震装置
や制震装置を提供



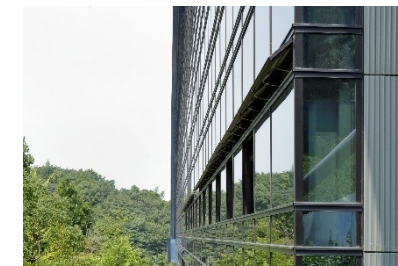
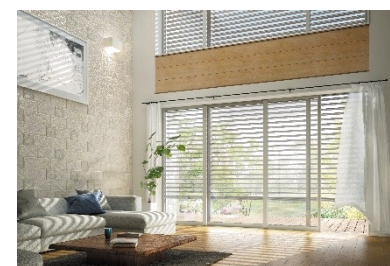
構造機器事業



自動車軸受事業



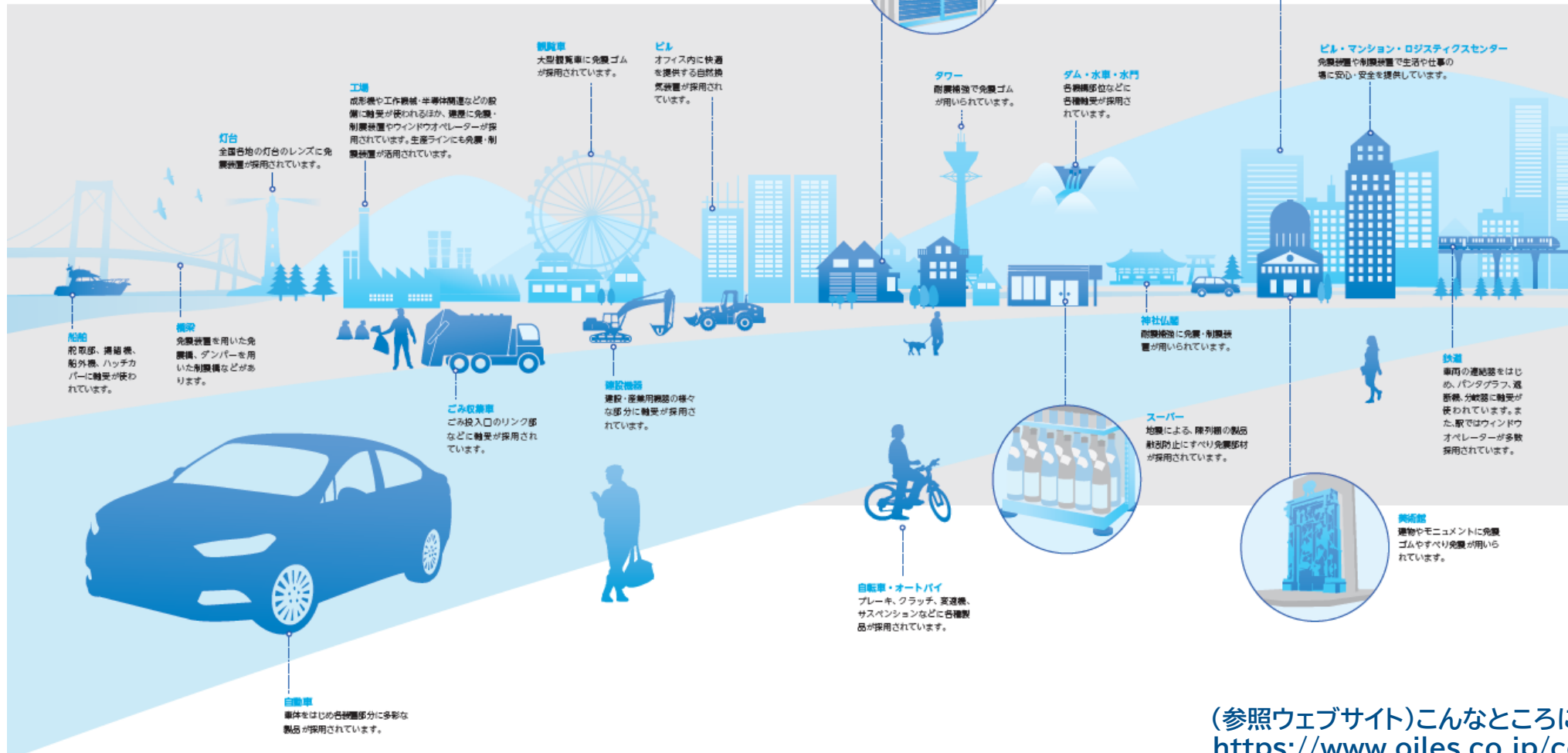
自動車や二輪車の領域で
軸受を提供



高層ビルから住宅に排煙・換気
装置や外付ブラインドを提供

建築機器事業 (オイレスECO株)

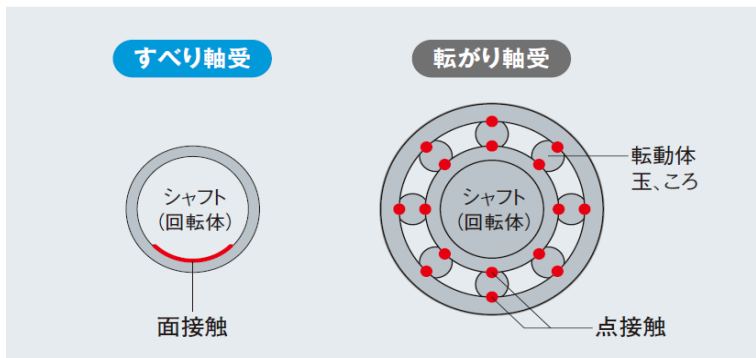
オイルスグループが、トライボロジーとダンピングという2つのコア技術を駆使して創り出す製品は、人々の暮らしや社会の安心・安全を支える様々な機器や装置、建造物を構成する大事な要素として使われています。これからもオイルスグループは、人と社会の幸福を願って技術を磨き続けることで、より良い暮らしに貢献していきます。



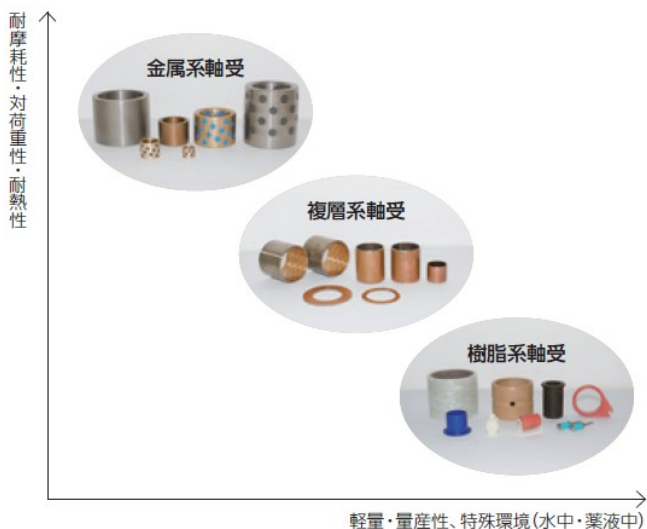
(参照ウェブサイト)こんなところにオイルス
<https://www.oiles.co.jp/corporate/case/>

環境負荷が低く、軽量・コンパクトなど社会や時代のニーズに応えるオイルスベアリング

軸受は「すべり軸受」と「転がり軸受」に大別され、オイルスベアリングは、給油量・給油回数を少なくできる、又は無給油で使用できる『すべり軸受』です。オイルス独自の技術とノウハウにより、転がり軸受や一般のすべり軸受では性能を維持できない厳しい環境下でも、優れた耐久性と性能安定性を発揮します。



適用材質から見た軸受の分類



特長比較



	オイルスベアリング	転がり軸受
給油	◎	○
耐荷重	◎	○
速度特性	低速向き	中・高速向き
摩擦係数	△	○
摺動運動	◎	△
往復運動	○	△
耐衝撃	○	×
耐フレッチング	○	×
耐熱性	◎	△
耐食性	○	△
形状変更	◎	×
寸法精度	△	◎

◎: 特に優れる ○: 優れる/使用可能 △: やや劣る ×: 劣る/使用不可

■主な特長

給油装置・給油孔・油溝加工が不要

給油装置の費用や加工費・組付費など、余分なコストと手間が省け大幅なコストダウンができます。

ランニングコストの削減

潤滑油の消費と設備のメンテナンスに必要な費用が少なくすみ、ランニングコストが大幅に削減できます。

メンテナンスフリー

給油や給油装置の点検などのメンテナンスコストが大幅に軽減できます。また、給油不良によるトラブルもありません。

設計時間の短縮

給油が省けることで設計・構造を簡素化でき、コストと時間が大幅に削減できます。また、オイルスベアリングは耐久性に優れ、機械の高性能化と長寿命化がはかれます。

潤滑油のリサイクルと環境保全

油のリサイクルに必要な費用と手間が省け、さらに油による汚染から環境を保全します。

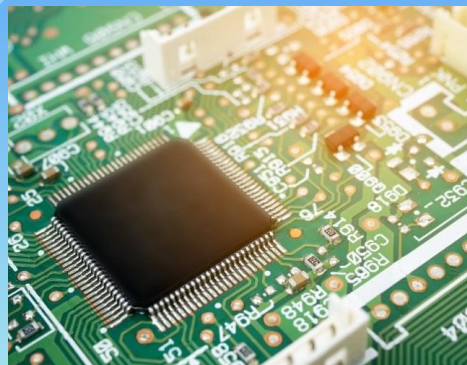
インフラ



プラント



建設/農業機械



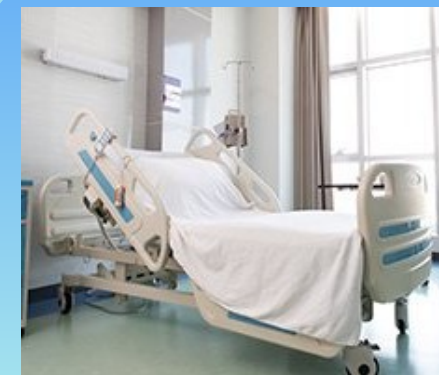
自動車



ロボット



半導体製造装置



医療・介護

エネルギー



● 自動車向け使用実績

パワートレイン / 排気システム



●コンプレッサー
- 斜板式



- スクロール式



●ベルトテンショナー



●トランスミッション
- 電動オイルポンプ



●トランスミッション
- コントロールユニット



ソレノイドバルブ



●マニュアルトランスミッション
- シフトフォーク



●ディファレンシャルギア
- プレート(ワッシャー)、ブッシュ



●排気管
- 球面継手用シールベアリング



ステアリング / サスペンション



●ストラット
- ストラットベアリング



●EPS
- モーターカップリング



●ラックプッシュ



●ラックガイド



ボディ / シート / ペダル



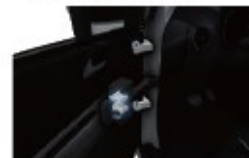
●シート
- 高さ調整機構



●シート
- ダンパー



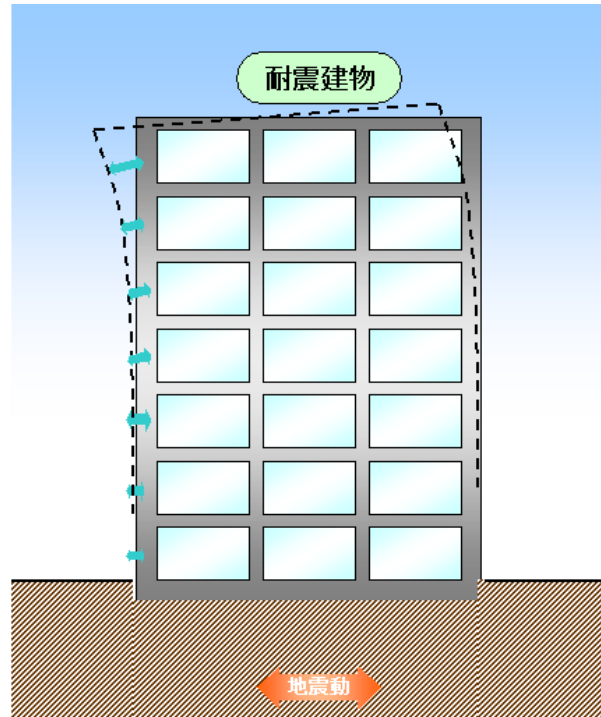
●ドア
- ヒンジ、チェッカー



●ペダル
- ヒステリシス発生装置

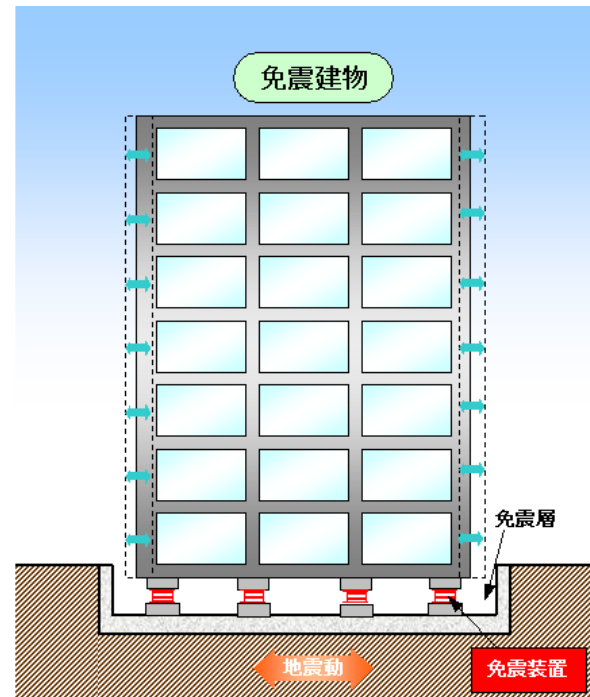


耐震構造



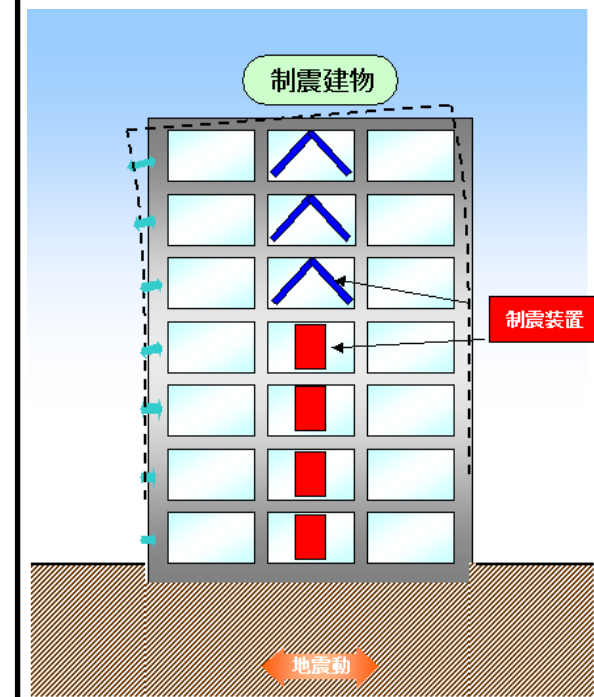
ガチガチの建物 →
多少壊れても粘り強く造る
すべて地震力は**構造**躯体で負担

免震構造



緩やかに揺れる建物 →
建物と基礎を切り離す
ほぼ地震力は**免震**装置で負担

制震構造



揺れる力を制御する建物 →
耐震建物に制震装置を付加
一部の地震力を**制震**装置で負担

■製品ラインナップ

橋梁製品

- 免震橋梁 LRBを用い、振動を周期化し、揺れを減衰
- 制震橋梁 LRBとBM-Sを用い、振動を制御し揺れを減衰
- 荷重分散橋梁 RB、LRBを用い、水平力を各橋棚に分散



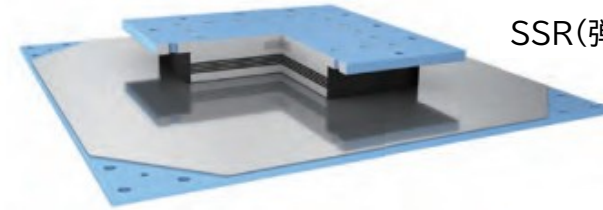
BM-S(橋梁用ダンパー)



LRB(鉛プラグ入り天然積層ゴム型免震支承)

建築製品

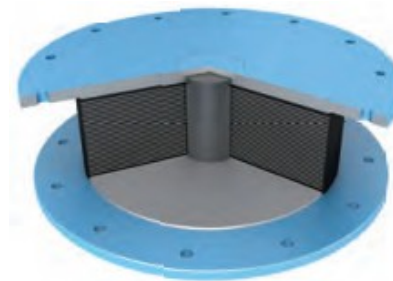
- 免震 様々な建物に適用できる免震装置(SSR、LRBIほか)
戸建て住宅や小規模ビルにも(FSPIほか)
- 制震 超高層オフィスビルや、高層マンション向け(制震壁ほか)



SSR(弾性すべり支承)



VWD(粘性体制震壁)

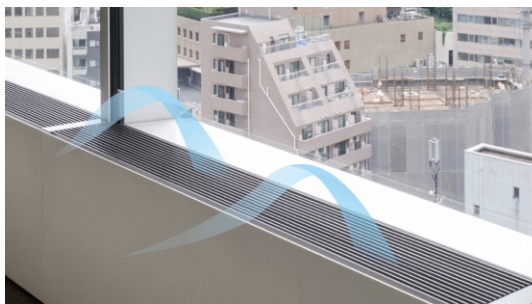


LRB(鉛プラグ挿入型積層ゴム支承)

●排煙・換気用窓開閉装置 ～ウィンドウオペレーター～



●エコレーター



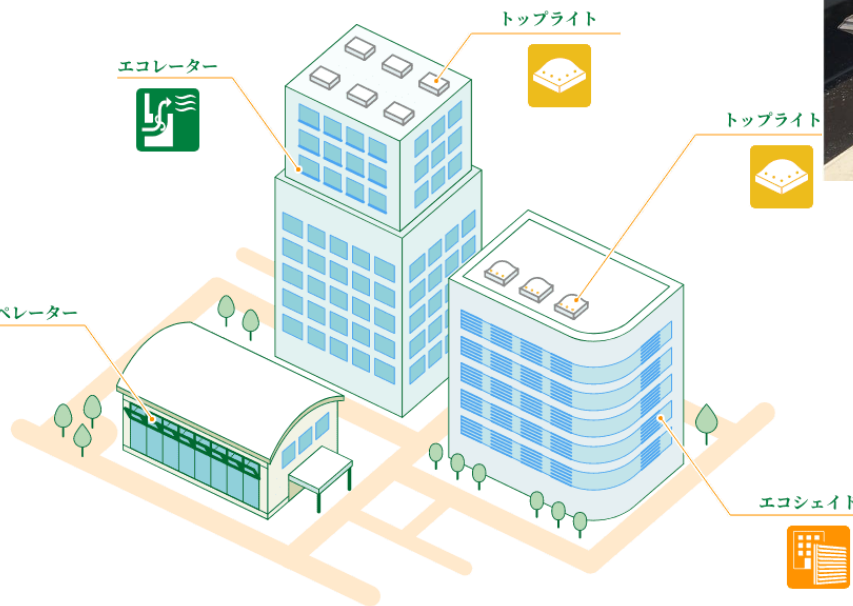
●トップライト



●外付ブラインド BRIIL～ブリュウ～



ウィンドウ オペレーター



●エコシェイド



オイレスECOのウェブサイトもぜひご覧ください。
<https://www.oiles-eco.co.jp/>



海外売上高比率

39%

OILES DEUTSCHLAND GMBH

OILES CZECH MANUFACTURING S.R.O.

SEOUL SALES BRANCH

SHANGHAI OILES BEARING INC.
SHANGHAI OILES BEARING INC.
SHANGHAI OFFICE (SALES)

OILES AMERICA CORPORATION

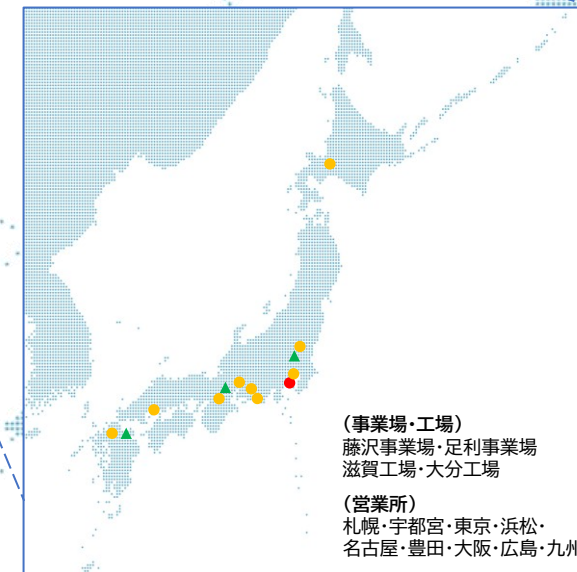
OILES INDIA PVT. LTD.

本社(藤沢事業場)

OILES SUZHOU CORPORATION

OILES INDIA PVT. LTD. PLANT

OILES (THAILAND) CO., LTD.

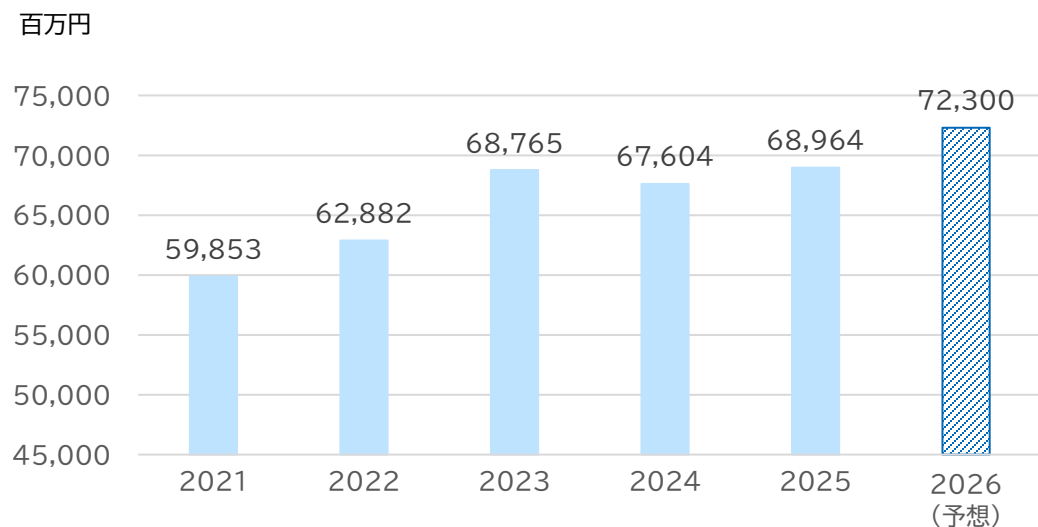


(事業場・工場)
藤沢事業場・足利事業場
滋賀工場・大分工場
(営業所)
札幌・宇都宮・東京・浜松・
名古屋・豊田・大阪・広島・九州

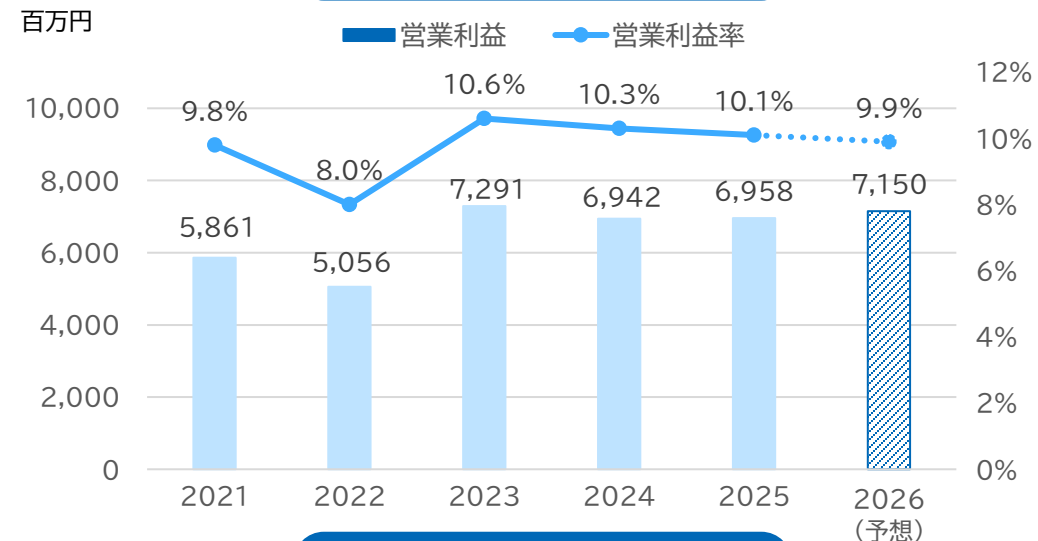
- 本社(藤沢事業場)
- 販売・製造拠点
- 販売拠点
- ▲ 製造拠点

(参照ウェブサイト)国内・海外関係会社
https://www.oiles.co.jp/corporate/affiliated_company/

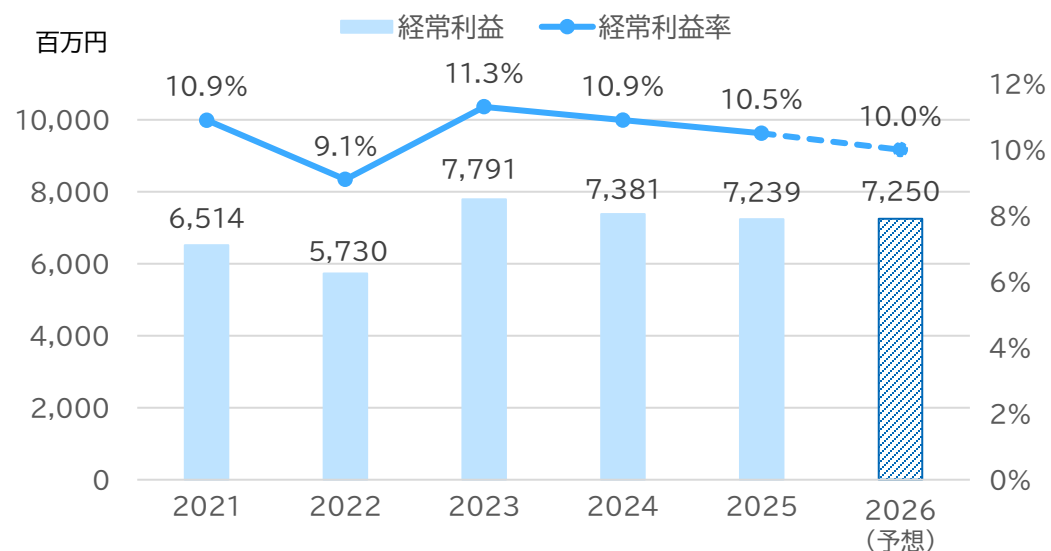
売上高



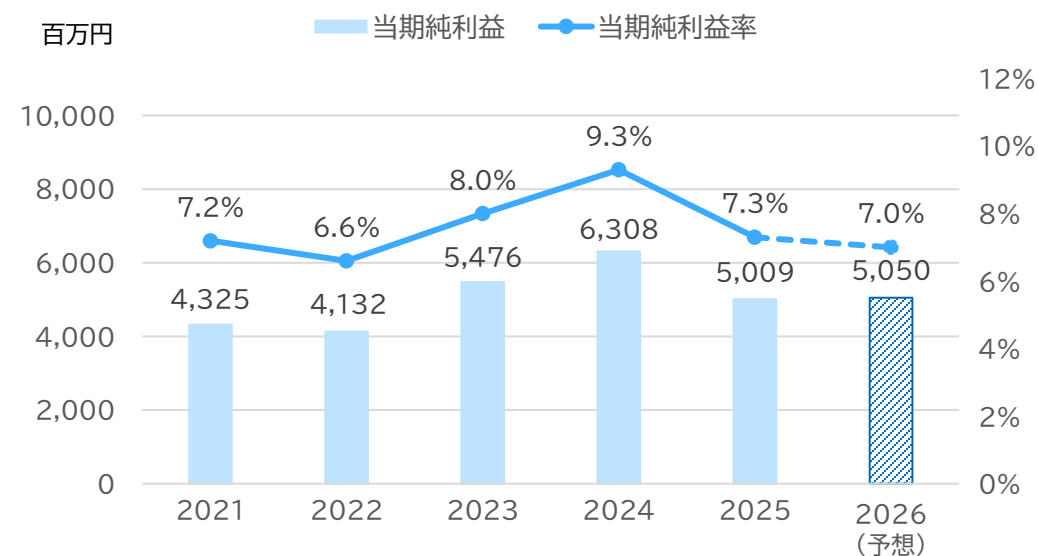
営業利益/率



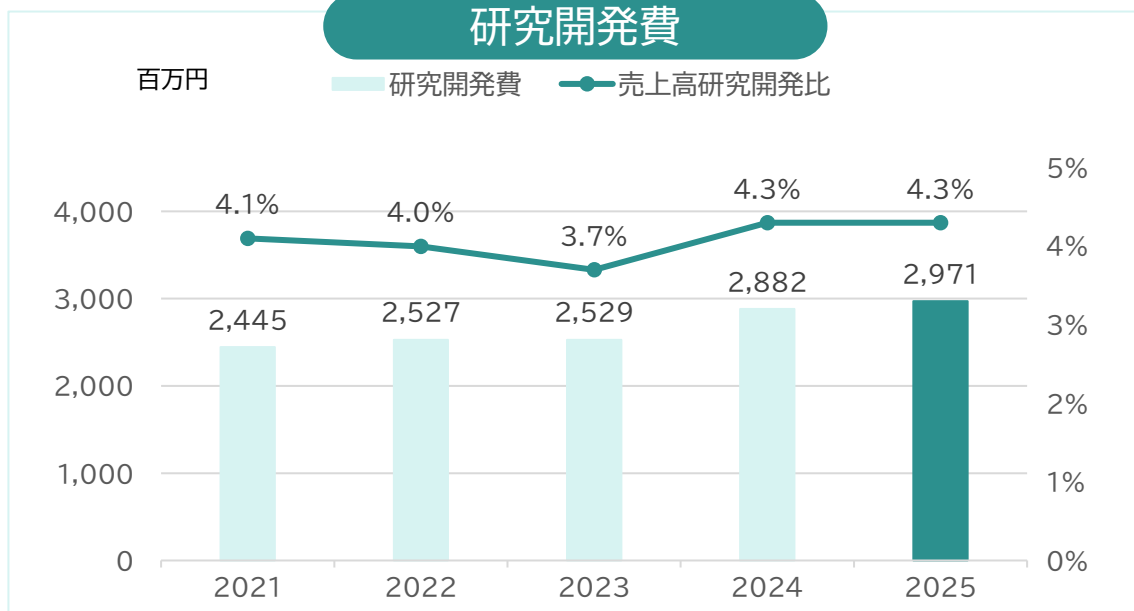
経常利益/率



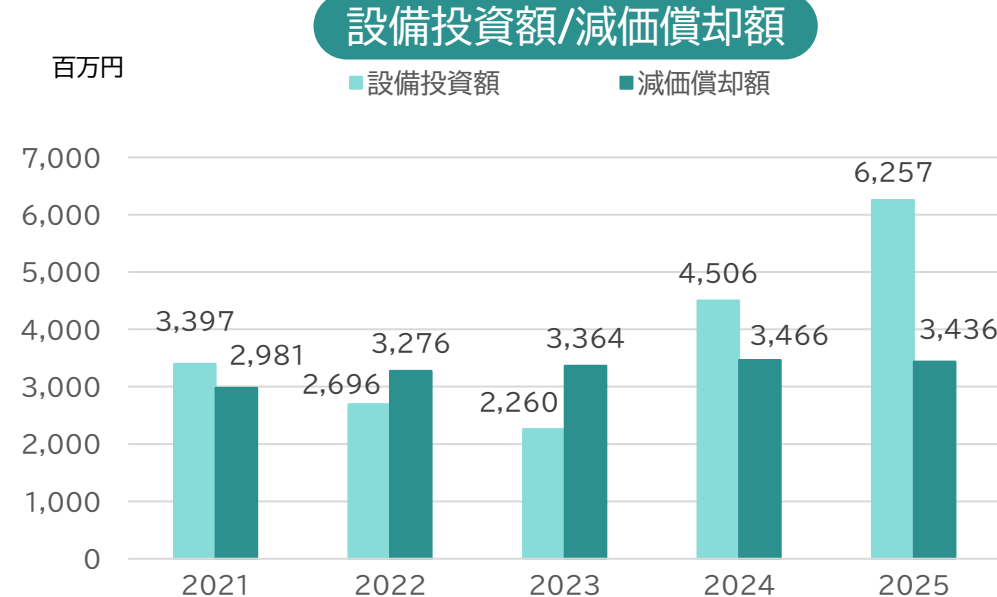
当期純利益/率



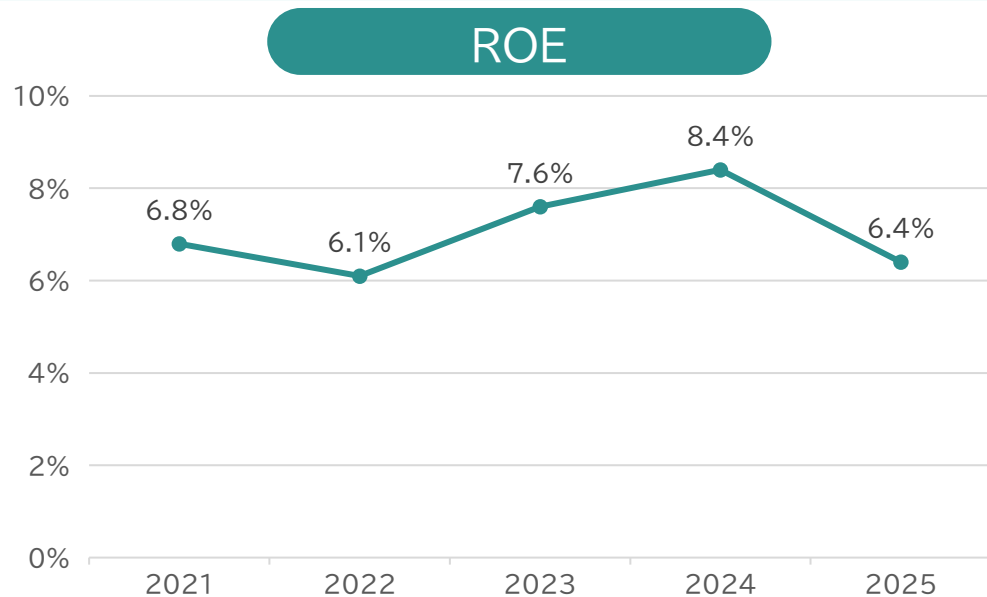
研究開発費



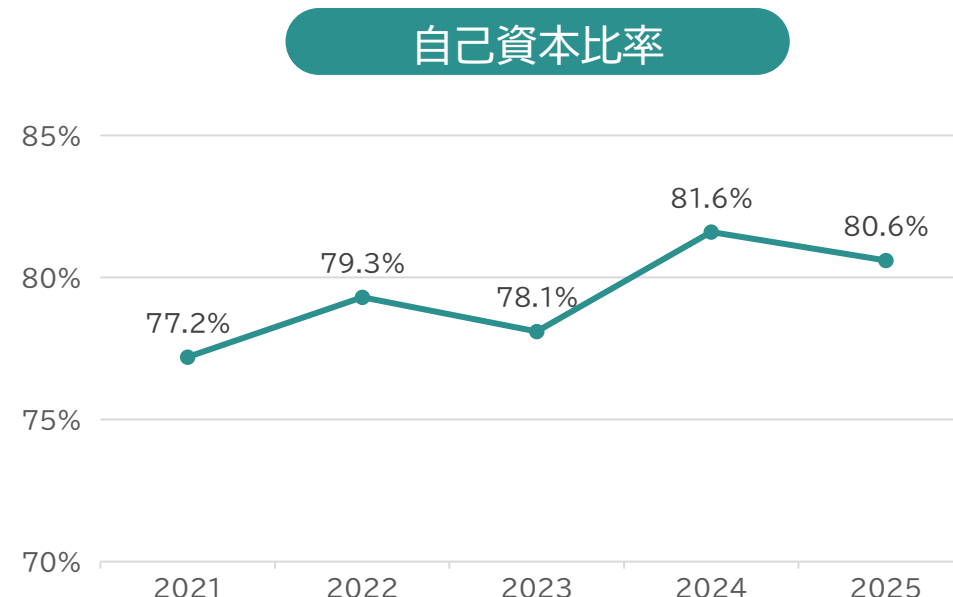
設備投資額/減価償却額



ROE



自己資本比率





FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022年4月

構成銘柄

FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄



2023年6月

くるみん認定企業

仕事と子育ての両立支援に取んでいる企業」子育てサポート企業として認定



2024年1月

えるぼし認定

女性活躍推進企業として“えるぼし認定”の2つ星評価を取得



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

2026年3月

健康経営優良法人

大規模法人部門の「健康経営優良法人」に4年連続で認定

日経広告なども掲載

会社案内・広告ライブラリ



2026年2月から3月にかけて見逃し無料配信動画サービス【TVer】にてCM動画配信実施
～「トップインタビュー 会社への想い」篇～



<https://www.oiles.co.jp/corporate/Advertising Library/>

オイレス早わかり



当社のことをすぐに理解できるコンテンツ
～「オイレス早わかりページ」～



<https://www.oiles.co.jp/at a glance/>

今後も当社ウェブサイトでは情報を随時発信してまいります

Topix 1 株主優待見直し

当社株式に投資する魅力を一層高めることを目的として、
株主優待制度の見直しをおこないました。

POINT 01 権利確定日を毎年3月末と9月末の年2回に増加

POINT 02 保有株式数に応じた新株主優待ポイントを設定



Topix 2 日経・東証IRフェア2026出展

日本最大の個人投資家向けIRイベントにおいて、
より多くの個人投資家の皆様と交流をおこなうため
会社説明会のほか、ブース出展の予定です。

POINT 01 代表取締役社長登壇の会社説明会開催

POINT 02 当社初となるIRイベントへの企業ブース出展



日経・東証IRフェア2025(昨年)の会社説明会の様子



OILES

オイルレスベアリングの総合メーカーとして
世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によっておこないますようお願いいたします。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。また、本資料に記載されている当社及び当企業グループ以外の企業などにかかわる情報は信頼できる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性などについて保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

取締役 執行役員 企画管理本部長 米山 操



0466-44-4901(代表)



oiles-ir@oiles.co.jp



<https://www.oiles.co.jp/>



公式キャラクター オスビー